



F-02E

ARROWS X

取扱説明書 '13.2

docomo NEXT series

はじめに

「F-02E」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

「クイックスタートガイド」(冊子)

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）(本端末に搭載)

すべての機能の案内や操作について説明しています。

〈操作手順〉アプリケーションメニューで [取扱説明書] → 検索方法を選択

「取扱説明書」を削除した場合には、Playストアで Google Playのサイトにアクセスして再度ダウンロードすることができます。

〈操作手順〉アプリケーションメニューで [Playストア] → 「取扱説明書」を検索して「取扱説明書」アプリを選択 → [インストール]

本書の見かた

- ・本書においては、「F-02E」を「本端末」と表記しています。
- ・本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ・本書は端末色が「White」、ホームアプリが「docomo Palette UI」、きせかえが「GREEN-BLUE」の場合で説明しています。
- ・本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。
- ・本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ・本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

「取扱説明書」(PDFファイル)

すべての機能の案内や操作について説明しています。

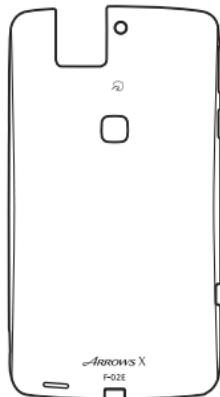
〈パソコンから〉 <http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>
※最新情報がダウンロードできます。

本体付属品

■F-02E（保証書付き）



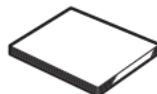
■リアカバー F76



■電池パック F28



■クイックスタートガイド



■卓上ホルダ F36



■microSD カード (2GB) (試供品)
(取扱説明書付き)



※ お買い上げ時にあらかじめ本端末に
取り付けられています。

■アンテナ付イヤホン変換ケーブル (試供品)
(取扱説明書付き)



□その他のオプション品→P169

目次

■本体付属品	1
■本端末のご利用について	4
■安全上のご注意（必ずお守りください）	5
■取り扱い上のご注意	14
■防水／防塵性能	20
【ご使用前の確認と設定	25
各部の名称と機能	25
ドコモminiUIMカード	27
microSDカード	28
電池パック	29
充電	31
電源ON/OFF	34
基本操作	34
文字入力	36
初期設定	44
お知らせLED	45
画面表示／アイコン	45
【docomo Palette UI	50
ホーム画面	50
アプリケーション画面	52
【電話	56
電話をかける	56
電話を受ける	58
通話中の操作	59
発着信履歴	60
通話設定	61
電話帳	62
【メール／ウェブブラウザ	68
spモードメール	68
SMS	68
Eメール	70
Gmail	73
緊急速報「エリアメール」	74
Googleトーク	75
ブラウザ	75
【本体設定	80
設定メニュー	80
無線とネットワーク	84
音・バイブ	92
ディスプレイ	95
マルチメディア	98
ストレージ	99
電池	99
NX!エコ	99
アプリケーション	100
ロック／セキュリティ	101
自分からだ設定	113
スライドイン機能設定	114
言語と入力	114

アカウントを追加	115
日付と時刻	116
ユーザー補助	116
端末情報	116

ファイル管理 117

赤外線通信	117
Bluetooth®通信	119
外部機器接続	122
DLNA対応機器との連携	124

アプリケーション 127

dメニュー	127
dマーケット	127
Playストア	127
おサイフケータイ	129
モバキャス	133
ワンセグ	137
カメラ	144
ギャラリー	150
メディアプレイヤー	151
YouTube	152
GPS／ナビ	153
カレンダー	157
スッキリ目覚まし	158
電卓	158
電子辞書	158
検索	159
Document Viewer	160
SDカードバックアップ	160
健康生活日記～からだライフ～	161

海外利用 163

国際ローミング (WORLD WING) の概要	163
海外で利用できるサービス	163
海外で利用する前の確認事項	163
海外で利用するための設定	165
滞在先で電話をかける／受ける	166
国際ローミングの設定	167
帰国後の確認	168

付録／索引 169

オプション・関連機器のご紹介	169
トラブルシューティング (FAQ)	169
スマートフォンあんしん遠隔サポート	177
本端末の初期化	177
保証とアフターサービス	178
ソフトウェア更新	180
主な仕様	184
携帯電話機の比吸収率 (SAR)	186
輸出管理規制	190
知的財産権	190
SIMロック解除	195
索引	196

本端末のご利用について

- ・本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- ・本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- ・本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえないかもしれません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- ・本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- ・お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（連絡先、スケジュール、メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- ・大切なデータはmicroSDカードおよびパソコンに保存することをおすすめします。
- ・本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- ・本端末はiモードのサイト（番組）への接続、iアプリなどには対応しておりません。
- ・本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になれます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。
- ・本端末では、マナーモード中でも、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は消音されません。
- ・お客様の電話番号（自局電話番号）は次の手順で確認できます。
アプリケーションメニューで【ドコモ電話帳】→【マイプロフィール】
- ・本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信やサーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

- お客様がご利用のアプリケーションやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P180
- 端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の容量がいっぱいに近い状態のときに、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存しているデータを削除してください。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスや、Twitterなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードを設定し、端末のセキュリティを確保してください。→P104
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット（VPN設定はPPTPのみに限定）以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。

- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケット定額サービスの加入をおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、<http://www.nttdocomo.co.jp/>をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。



この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。

この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意

この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱い（共通）	6
本端末の取り扱い	8
電池パックの取り扱い	10
アダプタ、卓上ホルダの取り扱い	11
ドコモminiUIMカードの取り扱い	12
医用電気機器近くでの取り扱い	12
材質一覧	13

◆本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱い（共通）

⚠ 危険

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

水濡れ禁止 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→P20
「防水／防塵性能」



指示 本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠️ 警告



強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

禁止

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



充電端子や外部接続端子、ステレオイヤホン端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

禁止

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

禁止

火災、やけどの原因となります。



指示 ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。

(NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)



指示 使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- ・電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- ・本端末の電源を切る。
- ・電池パックを本端末から取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠️ 注意



指示 ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

禁止 落下して、けがの原因となります。



指示 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

禁止 火災、やけど、感電の原因となります。



指示 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。



乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。



本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらアプリケーションや通話、ワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。

指示

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。



本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

禁止

運転の妨げとなり、事故の原因となります。



航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

指示

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

◆本端末の取り扱い



警告



赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

禁止

目に悪影響を及ぼす原因となります。



赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

禁止

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。



ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

禁止

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいくと、事故の原因となります。



心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

指示

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスなどの破片や露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には強化ガラス、カメラのレンズにはプラスチックパネルを使用し破片が飛散りにくい構造となっておりますが、万が一割れた場合に破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

△注意



禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。



禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹼で水洗いしてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P13「材質一覧」



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

◆電池パックの取り扱い

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表 示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

 端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
禁止
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

 電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
禁止
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

 火の中に投下しないでください。
禁止
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
禁止
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。失明の原因となります。

⚠ 警告

 落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
禁止
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

 電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
禁止
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

 ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
禁止
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
禁止
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

 濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
禁止
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

指示 失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い



アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

禁止 火災、やけど、感電の原因となります。



ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

禁止 火災、やけど、感電の原因となります。



DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

禁止 火災、やけど、感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

禁止 感電の原因となります。



コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。

禁止 火災、やけど、感電の原因となります。



コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。

濡れ手禁止 火災、やけど、感電の原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ：AC100V

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V
(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書をご確認ください。



電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

指示 火災、やけど、感電の原因となります。



ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

◆ ドコモminiUIMカードの取り扱い



ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

指示 けがの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。



医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。



- ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- ・病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AFコーティング
外装ケース	ディスプレイ側	PA樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	電池装着側、周辺パーツ、リアカバー	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
TV／FMトランスミッタアンテナ	先端部	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	パイプ部	ステンレス鋼
	根元屈曲部、根元回転部（上側）	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
	根元回転部（下側）	亜鉛／ニッケルメッキ
ストラップピン		ステンレス鋼／ニッケルメッキ
レシーバーパネル、アウトカメラパネル		アクリル樹脂／UVハードコート
ライトレンズ部		PC樹脂
電源キー、音量キー		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理

使用箇所	材質／表面処理
外部接続端子キャップ	PC樹脂＋ポリエチル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ステレオイヤホン端子	PA樹脂
指紋センサー	フレキシブルプリント基板
充電端子	LCP樹脂＋ステンレス鋼／金メッキ
電池パック F28	本体
	ラベル
	端子部

■卓上ホルダ F36

使用箇所	材質／表面処理
本体ケース	ABS樹脂
レバー	POM樹脂
ゴム足	シリコンゴム
接点バネ	リン青銅／金メッキ
外部接続端子	ステンレス鋼／錫（スズ）メッキ

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- F-O2Eは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。
 - 電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがあることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
 - お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
 - 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
 - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
 - 本端末や電池パックなどに無理な力がかかるないように使用してください。
 - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
 - ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
 - 傷つくことがあります、故障、破損の原因となります。
 - オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

◆本端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
 - タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
 - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般的の電話機やテレビ・ラジオなどを使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
 - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末を落としたり、衝撃を与えることなくしてください。
 - 故障、破損の原因となります。
- 外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、本端末は温かくなります。異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
 - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常は外部接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。
 - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
 - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えることなくしてください。
 - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができない場合があります。
- 指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。
 - 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能の低下や誤動作の原因となります。

- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
 - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
 - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
 - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5°C～35°C）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

◆アダプタについてのお願い

- ・充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- ・次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般的な電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- ・充電中、アダプタが温くなることがあります。異常ではありません。そのままご使用ください。
- ・DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
 - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- ・抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- ・強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
 - 故障の原因となります。

◆ドコモminiUIMカードについてのお願い

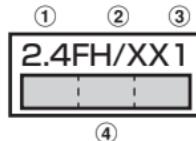
- ・ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- ・他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- ・IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ・お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- ・お客様ご自身でドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
 - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ・ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- ・ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ・ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ・ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
 - 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について

本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② FH/XX : 変調方式がFH-SS方式およびその他の方式(DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外)であることを示します。
- ③ 1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ [] : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
ご利用の国によってはBluetoothの使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

- 1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
- 3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN (WLAN) についてのお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

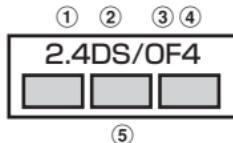
• 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雜音の影響を受けると雜音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

• 周波数帯について

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、本端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- ② DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF : 変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4 : 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末に内蔵の無線LANを5.2／5.3GHzでご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の周波数帯では、電子レンジなどの家庭電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただきたい上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

本端末が日本で使用できるチャンネル番号と周波数は次のとおりです。

5.2GHz帯

チャンネル番号 (Ch)	周波数 (MHz)
36	5,180
40	5,200
44	5,220
48	5,240

5.3GHz帯

チャンネル番号 (Ch)	周波数 (MHz)
52	5,260
56	5,280
60	5,300
64	5,320

5.6GHz帯

チャンネル番号 (Ch)	周波数 (MHz)
100	5,500
104	5,520
108	5,540
112	5,560
116	5,580
120	5,600
124	5,620
128	5,640
132	5,660
136	5,680
140	5,700

◆FeliCaリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

◆FMトランスマッタについて

- 本端末のFMトランスマッタ機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は78.4～89.6MHz帯です。ご使用の際は、周囲のFMラジオ使用者への影響を避けるため、ご使用の地域のFM放送局と重ならない周波数に設定してください。

◆注意

- 改造された端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク(○)」が本端末の銘版シールに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

- FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。

本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。

海外でご使用になると罰せられことがあります。

- FMトランスミッタは日本国内で使用してください。

本端末のFMトランスミッタは日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。

海外でご使用になると罰せられことがあります。

- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

F-O2Eは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5^{*1}、IPX8^{*2}の防水性能、IP5X^{*3}の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 F-O2EにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-O2Eを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。(水中においてカメラ機能は使用できません。)

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

❖ F-O2Eが有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話やワンセグ視聴ができます。

- 手が濡れているときや端末に水滴がついているときは、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。

- 水深1.5mのプールの中に沈めることができます。

- 水中で操作しないでください。

- プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。

- プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、所定の方法(→P23)で洗い流してください。

- 風呂場で使用できます。

- 浴船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、浴船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法(→P23)で水抜きしてください。

- 温泉や石鹼、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。

万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、所定の方法(→P23)で洗い流してください。

- 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。

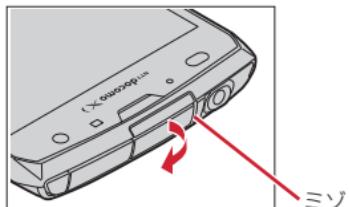
- 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。

- 蛇口やシャワーから水やお湯などをかけないでください。

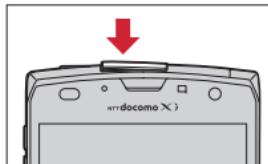
◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 外部接続端子を使用するときには、次の図に示すミゾに指を掛けてキャップを開けてください。



また、外部接続端子の使用後は次の図に示す方向にキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。



- リアカバーの取り付けかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」の「■取り付けかた」内で説明しています。→P29
- リアカバーは浮きがないように確実に取り付け、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。

- ステレオイヤホン端子、マイク（送話口）、受話口、スピーカー、温度・湿度センサーなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹼／洗剤／入浴剤
をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流
を当てる



海水につける



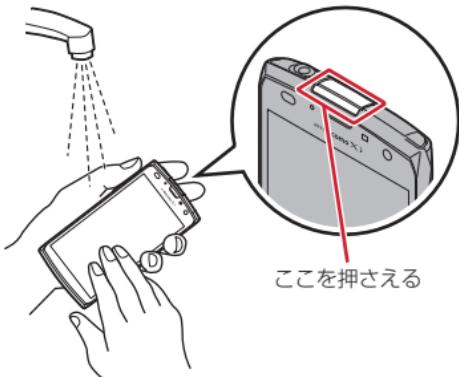
温泉で使う

- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、マイク（送話口）、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 温度・湿度センサー付近に水滴を残さないでください。温度と湿度が正確に測定できない恐れがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆本端末の洗いかた

外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず水道水で手洗いしてください。



- 規定（→P20）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当たて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。
- リアカバーを確実に取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらず常温の水道水で手洗いしてください。
- ブラシやスポンジ、石鹼、洗剤などは使用しないでください。
- 泥や土が付着している場合は操作をせず、まず洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落としてから、流水で洗い流してください。
- 洗い流した後は表面を乾いた布でよく拭いて、次の方法で水抜きを行った後、自然乾燥させてください。

◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

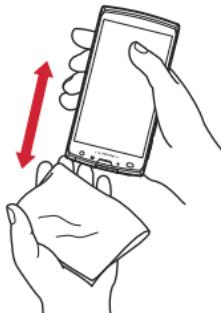
- ① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



- ② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- ③ ステレオイヤホン端子、マイク（送話口）、受話口、スピーカー、キー、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。



- ④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

- ・水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- ・隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

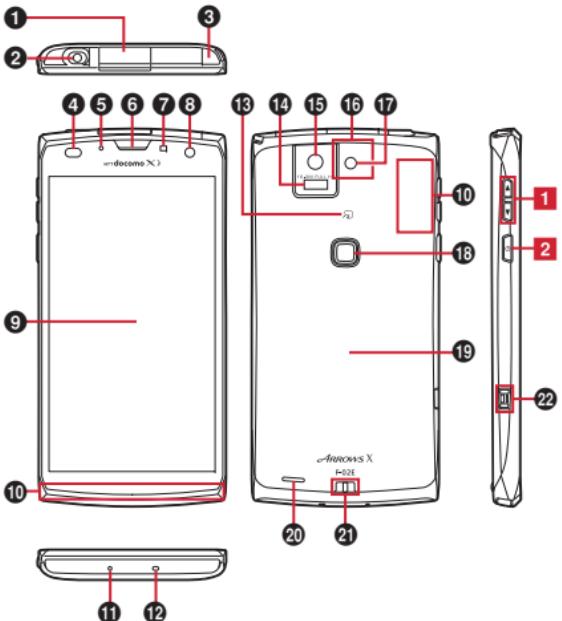
◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- ・充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- ・付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- ・本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- ・外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ・ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- ・濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



各部の機能

① 外部接続端子 (MHL兼用)

アンテナ付イヤホン変換ケーブル（試供品）などの接続

※ HDMIケーブル（市販品）を接続するには、HDMI変換ケーブル L01（別売）またはHDMI変換ケーブル SCO1（別売）が必要です。

② ステレオイヤホン端子（防水）

※ ステレオイヤホンのプラグを差し込むとイヤホン接続時マイク選択画面が表示されます。→P94

③ TV／FMトランスミッタアンテナ

※ ワンセグ視聴／モバキャス視聴／FMトランスミッタ出力時に伸ばします。

④ 近接センサー

通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐ

※ 近接センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けると、誤動作する場合があります。

⑤ お知らせLED

※ 点灯／点滅色は、設定やアプリケーションによって異なります。

⑥ 受話口

⑦ RGBセンサー

周囲の光の状態や明るさを検知して、ディスプレイの色味やバックライトの明るさを自動調節

※ ふさぐと、正しく検知されない場合があります。

⑧ インカメラ

⑨ ディスプレイ（タッチパネル）

⑩ Xi／FOMAアンテナ部

※アンテナは本体内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

※リアカバーを取り外すと、アンテナ部に防水とアンテナの性能を維持するためのシートが貼り付けられています。シートを傷つけたりはがしたりしないでください。

⑪ 送話口／マイク

※ご使用時にふさがないようご注意ください。

⑫ 温度・湿度センサー

※ふさぐと、正しく検知されない場合があります。

⑬ ネットワークマーク

ICカードの搭載

※ネットワークマークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用したり、NFCモジュールが内蔵された機器など対向機にかざして通信したりできます。

⑭ 赤外線ポート

⑮ アウトカメラ

⑯ GPS／Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部

※アンテナは本体内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⑰ カメラライト（フラッシュ）

⑯ 指紋センサー

指をスライドさせる：指紋認証、ロック画面解除

押す：スリープモードの設定／解除

⑲ リアカバー

※リアカバーを外して電池パックを取り外すと、ドコモminiUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。

※リアカバーの裏面には、防水／防塵のためのゴムパッキンがついています。

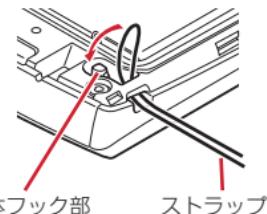
⑳ スピーカー

㉑ 充電端子

㉒ ストラップホール

ストラップを取り付ける際はリアカバーを一旦取り外し、図のようにストラップを穴に通した後、リアカバーを取り付けてください。防水／防塵性能を維持するため、ストラップがリアカバーに挟まっていることをご確認ください。

※「リアカバーの取り付け／取り外し」について→
P29



〈キーの機能〉

① 音量キー

押す：各種機能の音量の調節

■を1秒以上押す：マナーモードの設定／解除

② 電源キー

押す：スリープモードの設定／解除

長く押す：電源を入れる／切る、再起動、公共モード、機内モード、マナーモードの設定／解除

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

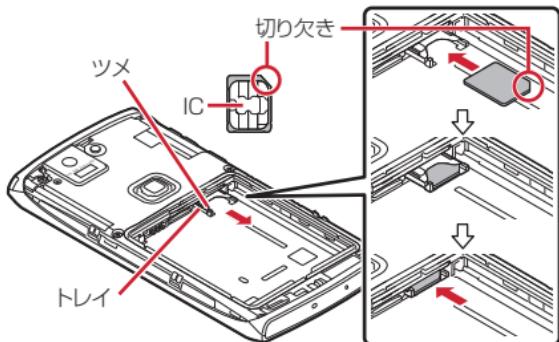
- ・本端末ではドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ・ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、一部の機能を利用することができません。
- ・ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- ・取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→P29

■ 取り付けかた

- ① ツメに指をかけ、トレイをまっすぐに引き出す
- ② ドコモminiUIMカードのIC面を下にしてトレイに差し込んでから、奥に差し込む
・切り欠きの方向にご注意ください。



■ 取り外しかた

- ① ツメに指をかけ、トレイをまっすぐに引き出してドコモminiUIMカードを取り外す

✓お知らせ

- ・ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- ・トレイは外れない構造となっています。トレイを引き出す際は、トレイ引き出し位置を目安とし、無理に引き出さないでください。トレイが破損する恐れがあります。

◆ ドコモminiUIMカードの暗証番号

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P103

microSDカード

◆ microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、64GBのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2013年1月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

✓お知らせ

- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。

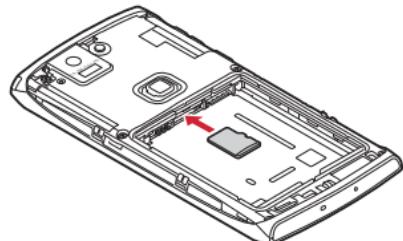
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- お買い上げ時は、あらかじめmicroSDカード（試供品）が取り付けられています。ご使用前に、microSDカードの取扱説明書もご覧ください。
- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→P29

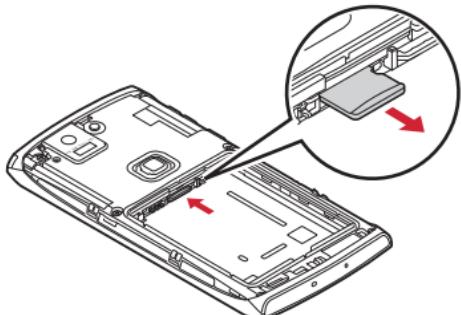
■ 取り付けかた

- ① microSDカードの金属端子面を下にして、図の向きで挿入口にロックするまで差し込む



■ 取り外しかた

- ① microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ引き出す



✓お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

電池パック

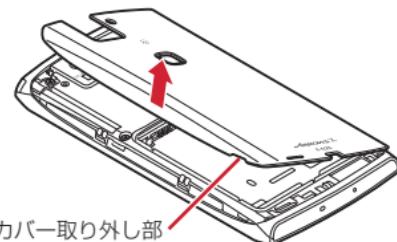
◆ 電池パックの取り付け／取り外し

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持つて行ってください。
- 本端末が濡れているときは、水分をよく拭きとってから、リアカバーを取り外してください。
- 本端末専用の電池パック F28をご利用ください。

■ 取り付けかた

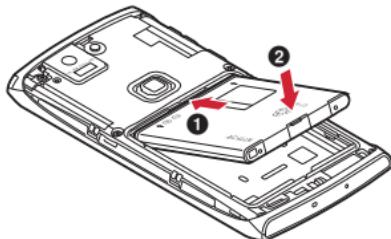
- ① リアカバー取り外し部に指先をかけ、リアカバーを矢印の方向に垂直に持ち上げながら取り外す

• 防水／防塵性能を維持するため、リアカバーはしっかりと取り付ける構造となっています。取り外しにくい場合は、力を入れて取り外してください。



リアカバー取り外し部

- ② 電池パックのラベルの矢印面を上にして、電池パックの金属端子を本端末の金属端子に合わせて①の方向に差し込みながら、②の方向に取り付ける

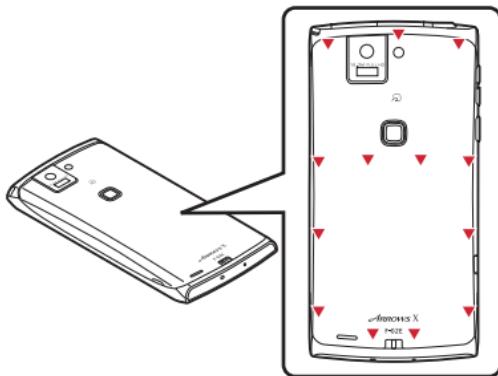


- ③ リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように装着する

- ④ リアカバー裏のツメと本端末のミヅを合わせて▼部分をしっかりと押して、完全に閉める

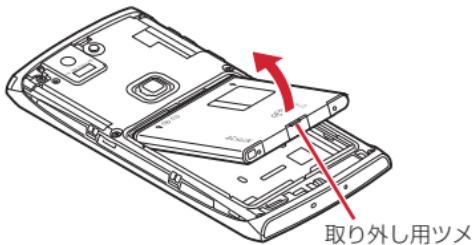
- ・防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

※「防水／防塵性能」について→P20



■取り外しかた

- ①電池パックの取り付けの操作①を行う
- ②電池パックの取り外し用ツメに指先をかけ、矢印の方向に持ち上げて取り外す



充電

◆充電時の注意

- ・本端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。
- ・充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがあります、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- ・次の場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電可能な状態になると、再度充電を開始します。
 - 充電器の電圧が充電可能な範囲外になった
 - 電池パックまたは端末の温度が充電可能な範囲外になった

- ・長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電器から取り外して、充電し直してください。
- ・電池パックの電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせLEDが点滅します。充電器から取り外すか電池パックを取り外して、充電し直してください。
- ・充電中はiC送信、Reader／Writer,P2P、Androidビームが使用できません。
- ・電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- ・電池パックを一度取り外し、再度取り付けた直後には、電池残量が正しく表示されない場合があります。繰り返し使用することで、電池残量表示が補正されます。

◆充電時間（目安）

F-02Eの電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ 03	(単独) 約●●分 (卓上ホルダ併用時) 約●●分
DCアダプタ 03	約●●分

❖十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。→P184

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約●●時間
	GSM	静止時（自動）：約●●時間
	LTE	静止時（自動）：約●●時間
連続通話時間	FOMA／3G	約●●分
	GSM	約●●分

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっています。充電しながら、通話などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。



Li-ion 00

❖ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

FOMA ACアダプタ O1（別売）：AC100Vのみに対応しています。

FOMA ACアダプタ O2（別売）／FOMA 海外兼用ACアダプタ O1（別売）／ACアダプタ O3（別売）／ACアダプタ F05（別売）／ACアダプタ F06（別売）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

FOMA DCアダプタ O1（別売）／FOMA DCアダプタ O2（別売）／DCアダプタ O3（別売）：自動車の中で充電する場合に使用します。

◆卓上ホルダ充電の設定

付属の卓上ホルダ F38を使って充電する場合は、本設定を確認してから充電行ってください。

・卓上ホルダを使わないで充電する場合は、本設定を変更する必要はありません。

1 ホーム画面で [] → [本体設定] → ユーザー設定の[その他...] → [卓上ホルダ充電] → 充電方法を選択

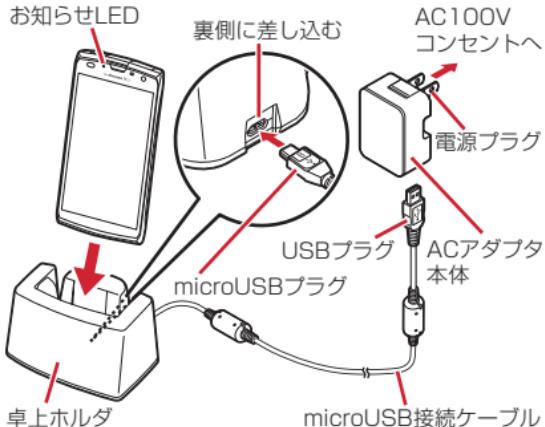
AC／DC充電：ACアダプタ／DCアダプタを接続して充電する場合に選択します。

PC充電：USBケーブルでパソコンと接続して充電する場合に選択します。

◆卓上ホルダを使って充電

付属の卓上ホルダ F36と別売りのACアダプタ 03を使って充電してください。

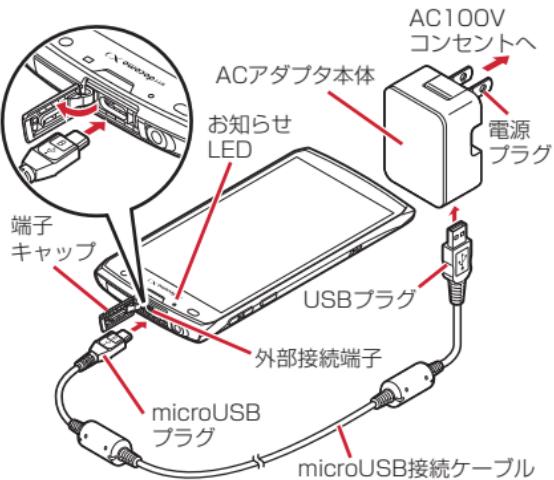
- ① microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、刻印面を上にして卓上ホルダ裏側の端子へ水平に差し込む
- ② microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、ACアダプタ本体の端子に差し込む
- ③ ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントに差し込む
- ④ 本端末を卓上ホルダに差し込み、お知らせLEDの点灯を確認する
 - ・充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。
- ⑤ 充電が終わったら、本端末を卓上ホルダから取り外し、ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントから抜く
- ⑥ ACアダプタ本体と卓上ホルダからmicroUSB接続ケーブルを抜く



◆ACアダプタを使って充電

別売りのACアダプタ 03を使って充電します。

- ① 本端末の端子キャップを開け、microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを、刻印面を上にして外部接続端子に水平に差し込む
- ② microUSB接続ケーブルのUSBプラグを、ACアダプタ本体の端子に差し込む
- ③ ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントに差し込む
 - ・充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。
- ④ 充電が終わったら、ACアダプタ本体の電源プラグをコンセントから抜く
- ⑤ ACアダプタ本体と本端末からmicroUSB接続ケーブルを抜き、本端末の端子キャップを閉じる



◆パソコンを使って充電

別売りのPC接続用USBケーブルT01などで接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。

- ・パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、「キャンセル」を選択してください。

電源ON／OFF

◆電源を入れる

- 1 お知らせLEDが緑色に点灯するまで^④を押し続ける(2秒以上)

バイブレータが振動した後、起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

- 2 ロック画面で^①

- ・ロック画面→P48

■初めて電源を入れたときは

Googleアカウントの設定と自分からだ設定（→P113）を行った後、ドコモサービスの初期設定を行います。それぞれ画面の案内に従って操作してください。

- ・ソフトウェア更新機能の確認画面が表示された場合は【OK】をタップします。
- ・操作ガイドが表示された場合は、【以後表示しない】または【OK】をタップします。

■ホームアプリの変更

初回起動時はホーム画面に【docomo Palette UI】が設定されています。[NX!ホーム]などに変更する場合は、ホーム画面で^②→[本体設定]→[ディスプレイ]→[ホーム画面切替]から切り替えるホームアプリを選択してください。

◆電源を切る

- 1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで^④を押し続ける

- 2 [電源を切る]→[OK]

バイブレータが振動して電源が切れます。
再起動：[再起動]

基本操作

◆タッチパネルの使いかた

本端末はタッチパネルを指で直接触れて操作します。

- ・タップが認識されているときに、振動でお知らせするかどうかを設定できます（はっきりタッチ→P94）。

❖ タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

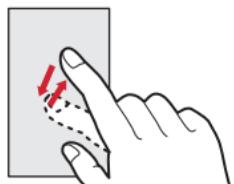
- ・次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- タッチパネルが濡れたままでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作
- 水中での操作

❖ タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてから離します。画面から指を離した時点で操作が有効になります。

ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。



例：タップ

❖ ロングタッチ

画面に長く触れます。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。

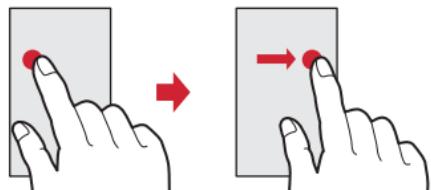
❖ ドラッグ／スライド（Swipe）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。

スライド（Swipe）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

- ・アプリケーションによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

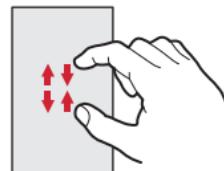
パン：画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



例：ドラッグ

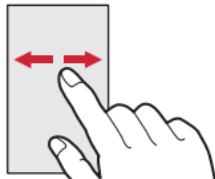
❖ ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



◆フリック

画面に触れた指をすばやく払います。



◆縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P96）。

- ・表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。
- ・本端末を手に持ちながら2回以上振ると、自動回転によって横向きに変わった画面を縦画面に戻して固定します（戻ってシェイク→P97）。

◆スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- ・画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 回と回を同時に押す(1秒以上)

通知パネルを開いてスクリーンショットの通知をタップ、またはアプリケーションメニューで【ギャラリー】→【Screenshots】をタップすると、画像を確認できます。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ・ここでは、主にNX!inputでの入力方法について説明します。
- ・他の入力方法に切り替えることもできます。→P41
- ・外付けキーボードを接続して入力ができます。→P43

◆キーボードの使いかた

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書きキーボードを使って文字を入力できます。

- ・各キーボードから、音声文字入力を起動することもできます。→P40
- ・キーボードの設定の手書き入力の設定で上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキーキーボード（ケータイ入力時）やQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。お買い上げ時は上書き手書き入力が有効に設定されています。→P41

■テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。入力方式の設定により、フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力の3種類の入力方式を使用できます。→P38



■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。



■ 手書きキーボード

手書きで文字を入力できます。



① / 定型文 / / 記号 : 絵文字／定型文／顔文字／記号の入力

: 上書き手書き入力の有効／無効

• テンキー-キーボードまたはQWERTYキーボード表示中に をロングタッチ→そのまま にスライドすると、全画面で上書き手書き入力ができます。

• キーボードの切り替え操作にも利用します。→P38

: 入力モードの切り替え（英字・数字・かな）

• 下にスライドすると、全画面で上書き手書き入力ができます。

: 音声文字入力の起動

• 全画面で上書き手書き入力中に上にスライドすると、キーボードを表示します。

: 手書きキーボードからテンキー-キーボード／QWERTYキーボードに切り替え

② : 直前に確定した文字を変換前の文字に戻す

: テンキー-キーボードでの入力で、キーに割り当てられた文字を逆順に表示

: カーソルを左に移動

: 英字入力時の大文字と小文字の切り替え

- タップするたびに、大文字→大文字固定→小文字に切り替わります。

: パスワードマネージャーの引用、電話帳／ATOKダイレクトの引用、NX!inputの設定、文字コードの入力、単語登録、定型文に切り替え

- 【定型文】は絵文字／絵文字Dが入力可能な場合に表示されます。

- キーボードの非表示の操作にも利用します。→P38

: キーボードの切り替え→P38

(ロングタッチ) : 音声文字入力の起動

: カタカナ／数字／英数／年月日（全角／半角）などに変換

: かな／全角カタカナ／半角カタカナ、英字の後変換候補から選択

: 英数字入力と記号入力モードの切り替え

- QWERTYキーボードの設定で数字キーを表示に設定した場合に表示されます。数字キーを非表示に設定した場合は、各キーを下にフリックしてキーに割り当てられている数字や記号を入力できます。

: カーソルの左側の文字を削除

- 上にフリックすると、カーソルの右側の文字を削除できます。

: カーソルを右に移動

: 文字の変換／空白の入力

: 次の入力項目にカーソル移動／確定または改行

- この他にも など、機能が変化する場合があります。

④ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力

- ・文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。
- ・認識された文字をタップして、補正候補の一覧から入れ替える文字を選択できます。上から書き直すこともできます。



❖ キーボードの表示／非表示

■ キーボードの表示

1 文字入力欄を選択

■ キーボードの非表示（テンキーキーボードとQWERTYキーボード）

1 ▲をタップ→ガイドが表示されたらそのまま任意の方向にスライド→▲が□に切り替わってから、再度□にスライドして指を離す

■ キーボードの非表示（手書きキーボード）

1 □

❖ キーボードの切り替え

■ テンキーキーボードとQWERTYキーボード

1 テンキーキーボードまたはQWERTYキーボード表示中に□

■ 手書きキーボード

1 テンキーキーボードまたはQWERTYキーボード表示中に□をロングタッチ→そのまま□にスライド

テンキーキーボードまたはQWERTYキーボードに切り替え：手書きキーボード表示中に□

❖ テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の3つの入力方式を利用できます。

・キーボードの設定の「テンキーの設定」で入力方式を選択して利用します。お買い上げ時はケータイ入力が有効に設定されています。→P41

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままになると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

・濁音／半濁音／拗音を入力するには、フリックしたあと□を1回または2回タップします。

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- ・濁音／半濁音／拗音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。



例：「ぱ」を入力する場合

- ・英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字を切り替えることができます。

◆ 便利な入力機能

絵文字や記号、定型文の入力をしたり、電話帳やパスワードマネージャーのデータを引用して入力できます。また、音声で文字を入力することもできます。

❖ 絵文字／顔文字／記号パレットで入力

- ・文字入力欄によっては、絵文字は入力できません。

1 (絵文字) / (顔文字) / (記号) (記号)

2 カテゴリーを選択→アイテム一覧から絵文字／顔文字／記号を選択

- ・パレット上部のカテゴリー欄を左右にスクロールすると、表示されていないカテゴリーを表示できます。
- ・アイテム一覧を左右にスクロールすると、表示されていないアイテムを表示できます。
- ・パレットの左上にある【履歴】をタップすると、最も新しく入力したアイテムを先頭に履歴一覧が表示されます。履歴一覧から入力することもできます。

❖ 定型文／文字コード表から入力



- キーボード上に[定型文]が表示されているときは、それをタップしても同様の入力操作ができます。
- 手書きキーボードの場合は、▲→NX!inputメニューの[定型文]／[文字コード]を選択します。



2 カテゴリーを選択→一覧から定型文／文字を選択

❖ 他のデータから引用して入力

電話帳やパスワードマネージャーのデータを引用して入力できます。

- パスワードマネージャー→P108



- 手書きキーボードの場合は、▲→NX!inputメニューの[ATOKダイレクト]を選択します。

2 目的の操作を行う

電話帳から引用：[電話帳／ATOKダイレクト]→連絡先リストで名前を選択→項目にチェック→[OK]

パスワードマネージャーから引用：[パスワードマネージャー]→認証操作→タイトルを選択→「ID(アカウント)」欄または「パスワード」欄の

- 文字入力中にキーボードの▲→■をタップしても操作できます。

❖ 音声文字入力

音声を文字に変換して入力します。

1 文字入力中に／(ロングタッチ)→言葉を発声

2 認識結果候補一覧から文字を選択

- 発声した言葉が正しく認識されない場合は、認識エラー画面で[やり直す]をタップすると、再度発声できます。
- 認識結果候補一覧では、上下にスクロールすると、表示されていない候補を表示できます。

◆他の入力方法に切り替え

Androidキーボードなど、他の入力方法に切り替えて入力することもできます。

- Androidキーボードは日本語入力に対応していません。
- 「NX!input 中国語（簡体字）」または「NX!input 韓国語」に切り替えたときは、手書きキーボードでのみ入力できます。

1 ホーム画面で  → [本体設定] → ユーザー設定の[その他...] → [言語と入力] → [デフォルト] → 入力方法を選択

✓お知らせ

- ATOKの日本語キーボードに戻すには、入力方法の一覧で [NX!input] を選択します。

◆NX!inputとATOKの設定

❖キーボードの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語や定型文の登録、設定の初期化などもできます。

1 ホーム画面で  → [本体設定] → ユーザー設定の[その他...] → [言語と入力] → [NX!input] の  をタップ

2 各項目を設定

操作音・バイブ：キー操作音、キー操作バイブを設定します。

テンキーの設定：入力方式（フリック入力／ケータイ入力／ジェスチャー入力）、フリック入力の設定（トグル入力、フリックガイド、フリック感度、修飾キーフリック）、ケータイ入力の設定（自動カーソル）、ジェスチャー入力の設定（トグル入力、ジェスチャーガイド）、文字削除キーを設定できます。

QWERTYキーボードの設定：英字は確定入力、数字キー表示（縦画面）、数字キー表示（横画面）を設定します。

手書き入力の設定：上書き手書き入力（テンキー、QWERTYキーボード）、上書き手書き感度、縦画面／横画面／全画面縦／全画面横の枠数、ガイド表示、確定速度、線の設定（通常手書き／全画面手書きの太さ、色）を設定します。

共通の設定：日本語入力時／英語入力時／数字入力時のキーボードの選択、推測変換、未入力時の推測候補表示、スペースは半角で出力、自動スペース入力、自動全画面化（横画面）を設定します。

候補一覧設定：候補一覧の文字サイズ、表示行数（縦画面）、表示行数（横画面）を設定します。

デザイン：画面デザインのテーマ、キーサイズ（縦画面）、キーサイズ（横画面）を設定します。

ユーティリティ：辞書ユーティリティで単語の登録（→P42）や、定型文ユーティリティで定型文の登録、編集（→P42）を行います。

初期化：設定の初期化、学習データの初期化を行います。

- [設定の初期化] を実行しても学習データやユーザー辞書の単語、登録した定型文は削除されません。

❖ 単語の登録（ユーザー辞書）

よく使う単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力したとき変換候補として優先的に表示されます。

1 ホーム画面で [] → [本体設定] → ユーザー設定の[その他...] → [言語と入力] → [NX!input] の [] をタップ

2 [ユーティリティ] → [辞書ユーティリティ]

3 [] → [新規登録] → [単語] に登録する単語を入力 → [読み] に読みかたを入力 → 品詞を選択 → [登録]

登録単語を修正：単語をタップ → 内容を修正 → [修正]

登録単語を1件削除：単語をロングタッチ → [削除] → [はい]

登録単語を全件削除： [] → [全削除] → [はい]

登録単語をmicroSDカードに保存： [] → [一覧出力] → 場所欄で [sdcard] → 保存先のフォルダを選択 → ファイル名を入力 → [OK] → [実行] → [閉じる]

microSDカードに保存した単語を読み込む： [] → [一括登録] → 場所欄で [sdcard] → フォルダを選択 → ファイルを選択 → [OK] → [登録] → [閉じる]

・文字入力の確定時に自動的に学習された単語も登録する場合は、[自動登録単語は含めない] のチェックを外してください。

❖ 定型文の登録

新しい定型文やカテゴリーを登録できます。

1 ホーム画面で [] → [本体設定] → ユーザー設定の[その他...] → [言語と入力] → [NX!input] の [] をタップ

2 [ユーティリティ] → [定型文ユーティリティ]

3 [] → [新規作成] → 定型文を入力 → カテゴリー欄でカテゴリーを選択 → [登録]

定型文の本文を修正：定型文をタップ → 内容を修正 → [登録]

・新規に作成した定型文の本文を修正すると、タイトルも連動して変更されます。タイトルを本文と連動させたくない場合は、定型文のタイトル変更をしてください。

定型文を削除：定型文をロングタッチ → [削除] → [はい]

定型文のタイトルを修正：定型文をロングタッチ → [タイトル変更] → 内容を修正 → [OK]

カテゴリーを追加： [] → [カテゴリー] → [] → [新規作成] → カテゴリー名を入力 → [OK]

カテゴリーを変更：定型文をロングタッチ → [カテゴリー移動] → 移動先のカテゴリーを選択

お買い上げ時の状態に戻す： [] → [初期化] → [はい]

◆テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- ・アプリケーションの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖テキストのコピー／切り取り

■文字入力欄でのコピー／切り取り

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- ・テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- ・すべてを選択するには■をタップします。
- ・選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

2 圖(コピー)／図(切り取り)

■Webサイトなどでコピー

1 テキストをロングタッチ

テキスト範囲がハイライト表示されます。

- ・テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- ・すべてを選択するには【すべて選択】をタップします。
- ・選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。
- ・Webサイトによっては、表示されるメニューから【テキストを選択してコピー】をタップします。

2 圖(コピー)

クリップボードにコピーされます。

❖テキストの貼り付け

1 貼り付け位置にカーソルを移動してロングタッチ→【貼り付け】

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

◆外付けキーボードの利用

本端末とUSBキーボードやBluetoothキーボード（HID／SPP）を接続して文字入力ができます。

- ・101キーボード、104キーボード、106キーボード、OADG 109キーボード、OADG 109Aキーボードに対応しています。

❖外付けキーボードの接続

- ・Bluetoothキーボードの接続方法→P120

■USBキーボードの接続

1 USBキーボードと本端末の外部接続端子を接続

❖外付けキーボードの設定

1 ホーム画面で■→【本体設定】→ユーザー設定の【その他...】→【言語と入力】→【キーボード配列】→キーボードを選択

初期設定

本端末を使うために最初に設定が必要な項目をまとめて設定できます。

- 各設定はいつでも変更できます。

1 ホーム画面で [≡] → [本体設定] → [初期設定]

2 各項目を設定

スライドイン機能設定：画面の端から指をスライドさせてアプリケーションを起動したり、画面をキャプチャしたりすることができる機能を設定します。→P114

画面ロックの認証設定：画面ロックの認証設定を有効にするかを設定します。→P104

セキュリティ解除方法：画面ロックの解除方法を設定します。→P104

かんたんお引越し：microSDカードを利用して携帯電話のデータを復元できます。

❖ かんたんお引越し

microSDカードに保存した携帯電話のデータを、本端末で復元します。

- 電話帳データ、リダイヤル／着信履歴、スケジュール帳、ブックマーク、アラーム、受信／送信／未送信メールのデータを復元できます。

1 ホーム画面で [≡] → [本体設定] → [初期設定] → [かんたんお引越し]

各データの復元先の案内を確認した後、[OK] をタップします。以降は画面の案内に従って操作してください。

- 次回起動時に復元先の案内画面を表示しない場合は、[OK] をタップする前に [以降表示しない] にチェックを付けてください。

✓ お知らせ

- 復元した受信／送信／未送信メールを表示するには、アプリケーションメニューで [spモードメール] → [≡] → [取り込み] をタップして、取り込み先を選択してください。
- 復元したスケジュールを表示するには、復元先のアカウントと同期してください。復元先のアカウントは、端末に最後に登録されたGoogleアカウントとなります。
- ご使用の携帯電話の機種によっては、かんたんお引越しに対応していないため、一部のデータを復元できないことがあります。

❖ その他の初期設定について

初期設定の項目以外にも、必要に応じて、次の項目を設定してください。

- Googleなどのアカウントの設定→P115
- Eメールのアカウントの設定→P70
- Wi-Fi機能の設定→P86
- アクセスポイント(APN)の設定→P84

お知らせLED

充電中や不在着信など、本端末の状態をお知らせLEDの点灯や点滅で通知します。

■ 通知の種類と点灯／点滅について

電源ON：緑色1回点灯

充電異常：赤色点滅

電話着信中：点滅色は「着信LED」で設定→P93

新着SMS：点滅色は「メッセージ」で設定→P69

不在着信、伝言メモ：点滅色は「着信LED」で設定→P93

充電中：赤色点灯

✓ お知らせ

- アプリケーション利用時の点灯／点滅は、アプリケーションによって設定や動作などが異なります。

画面表示／アイコン

◆ ナビゲーションバーのキー

画面下部のナビゲーションバーに、画面を操作するためのキー(アイコン)が表示されます。キーの名称と動作は次のとおりです。



◀ バックキー

タップ：直前の画面に戻る、アプリケーションの終了

⌂ ホームキー

タップ：ホーム画面に戻る→P50

ロングタッチ：タスク管理画面の表示→P49

☰ メニューキー

タップ：現在の画面で使用できる設定などの表示

◆ ステータスバーのアイコン

ステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンで様々な状態を確認できます。



■ 主な通知アイコン

- : 新着Gmail
- : 新着Eメール
- : 新着spモードメール
- : 新着SMS
- : 新着エリアメール
- : SMSの送信失敗
- : 同期トラブル
- : Wi-FiがONでWi-Fiネットワークが利用可能
- : Wi-Fiテザリングが有効、Wi-Fi Direct利用中
- : USB接続中
- : USBテザリングが有効
- : Wi-FiテザリングとUSBテザリングが有効
- : 着信中／通話中
- : 不在着信
- : 通話保留中
- : 伝言メモあり
- : 留守番電話サービスの伝言メッセージ
- : データのアップロード完了／ダウンロード完了
- : Google Playなどからのアプリケーションがインストール完了
- : Google Playのアプリケーションがアップデート可能
- : 隠れた通知あり
- : 3.5φイヤホン接続中（端末のマイクからの入力）
- : 3.5φイヤホン接続中（イヤホンマイクからの入力）
- : ワンセグ受信中／録画中
- : VPN接続
- : ソフトウェア更新有／完了／継続不可
- : NX!エコ（タイマーエコモード時間帯1）
- : NX!エコ（タイマーエコモード時間帯2）
- : NX!エコ（電池残量エコモード）
- : NX!エコ（今すぐエコモード）

- : あわせるズームで画面拡大中

- : 戻ってシェイクで画面固定中
- : GPS測位中
- : FMトランスミッタON
- : 競合によりFMトランスミッタOFF
- : モバキャス受信中
- : NOTTVから通知あり
- : 音声コンテンツのバックグラウンド再生中
- : おまかせロック設定中
- : 本端末のメモリの空き容量低下
- : アプリ電池診断（電池を消耗しているアプリを検出）

■ 主なステータスアイコン

- : 電波状態
 - 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が表示されます。
 - 国際ローミング中は左上に[R]が表示されます。
- : 圏外
- : GPRS使用可能
- : 3G使用可能
- : LTE使用可能
- : 機内モード
- : Wi-Fi接続中
- : Bluetooth機能ON
- : Bluetooth機器接続中
- : NFC／おサイフケータイ ロック設定中
- : 伝言メモ設定中
- : 伝言メモがいっぱい
- : スピーカーフォンON
- : マイクミュート
- : 着信音量0
- : バイブレーションON
- : 公共モード（ドライブモード）

- : マナーモード（通常マナー）
- : マナーモード（サイレントマナー）
- : マナーモード（アラームONマナー）
- : マナーモード（オリジナルマナー）
- : 要充電
- : 電池残量がほとんどない
- : 電池残量が少ない
- : 電池残量十分
- : 充電中
- (白): 持ってる間ON設定中（動きを検出して画面点灯中）
- (グレー): 持ってる間ON設定中
- : かな入力モード
- : 英字入力モード
- : 数字入力モード
- : 手書き入力モード
- : 絵文字／顔文字／記号、定型文、文字コード入力
- : IP通話アプリの音質サポート

◆通知パネル

通知パネルを開くと、通知アイコンの情報を確認したり設定を行ったりすることができます。

❖通知パネルを開く

1 ステータスバーを下方向にドラッグ



①設定スイッチ

設定スイッチをタップすると、各設定を切り替えることができます。

- ■をタップすると、設定メニューを表示できます。

②通知

各通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。

- ■をタップすると、通知パネル内の表示が消去されます。通知内容によっては■が表示されない場合があります。

③在圏ネットワーク名

④SIMカード事業者名

⑤タブ

◆通知パネルを閉じる

- 1 通知パネル下のタブを上方向にドラッグ、または➡

◆設定スイッチを変更する

設定スイッチの機能割り当てを変更します。

- 1 通知パネルの設定スイッチをロングタッチ
→パネル選択画面で機能を選択

◆ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、スリープ／持っている間ONの設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。

- 1 ⏱
スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。
手動でスリープモードにする : ⏱

✓お知らせ

- ・指紋センサーを押しても、スリープモードにしたり解除したりできます。
- ・スリープモード中に電話着信があると、スリープモードは解除されます。

◆ロック画面が表示されたら

- 1 ロック画面で➊

ロックが解除されます。



「ひつじのしじくん®」
©NTT DOCOMO

✓お知らせ

- ・指紋センサーに指をスライドしても、ロック画面を解除できます。指紋センサーを押してスリープモードを解除した後に操作する場合は、センサーから一度指を離した後、指をスライドさせてください。
- ・ロック画面の➊をタップするとカメラが起動し、➋をタップするとしゃべってコンシェルが起動します。画面ロックの認証設定が有効の場合は、認証操作後にしゃべってコンシェルが起動します。
- ・ロック画面が表示されていても、不在着信と未読spメールの件数が表示されます。
- ・ロック画面では、ロック画面の消灯時間の設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。
- ・画面ロックの認証設定が無効の場合は、ロック画面で通知パネルを表示できます。

◆ タスク管理

をタップするなどしてアプリケーションの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリケーションが実行中の状態になることがあります。タスクマネージャを起動すると、実行中のアプリケーションを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 をロングタッチ

最近使用したアプリケーションが表示されます。

- ・サムネイルをタップするとアプリケーションを起動できます。
- ・サムネイルをロングタッチすると、リストから削除したりアプリ情報を確認したりできます。

2 [タスクマネージャ]

実行中のアプリケーションが表示されます。

3 目的の操作を行う

アプリケーションの表示 : [表示]

アプリケーションの終了 : [終了] / [すべて終了]

❖ スライドインランチャー／キャプメモについて

お買い上げ時は、画面の左下隅から指をスライドすることでスライドインランチャーを、また、画面の右下隅から指をスライドすることでキャプメモ（画面のキャプチャ機能）を呼び出すことができます。スライドインランチャーのショートカットからアプリケーションを起動したり、キャプメモを利用して画面をキャプチャしたりすることができます。

- ・スライドイン機能設定／キャプメモの使いかた→P114

◆ 画面のカスタマイズ

パターンの入力画面、指紋認証画面、電話の発着信画面、NX!inputのキーボード画面を好みのデザインに変更できます。

1 ホーム画面で → [本体設定] → [ディスプレイ] → [画面のカスタマイズ] → 各項目を設定

docomo Palette UI

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面です。[家]をタップしていつでも呼び出すことができます。



① ステータスバー→P45

ステータスバーを下方向にドラッグすると、通知パネルが表示されます。→P47

② インジケーター

ホーム画面の現在位置を示します。

③ カスタマイズエリア

ショートカット、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

④ ドック

ホーム画面に表示されます。

✓お知らせ

- ・ホーム画面で [≡] → [本体設定] をタップして、設定メニューを表示できます。→P80

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリケーションのショートカットやウィジェットなどを自由に配置できます。

1 左右にフリックしてカスタマイズするホーム画面を表示→カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [ショートカット]/[ウィジェット]/[フォルダ]/[グループ]→必要に応じて項目の選択や設定を行う

- ・項目をロングタッチしてドラッグすると、位置を変更できます。
- ・ウィジェットによっては、ロングタッチしてサイズを変更することができます。
- ・ショートカットをロングタッチして他のショートカットの上にドラッグすると、ショートカットを統合したフォルダが作成できます。
- ・フォルダをロングタッチして [名称変更] をタップすると、フォルダ名を変更できます。

✓お知らせ

- ・ドックも同様にショートカット、フォルダ、グループを配置できます。ただし、[#]は移動/削除/変更できません。

❖ ショートカットなどの削除

1 左右にフリックしてカスタマイズするホーム画面を表示

2 削除するショートカットなどをロングタッチ→[削除]

- ・ロングタッチした後、画面下の までドラッグしても削除できます。

❖ アプリケーションやウィジェットのアンインストール

1 左右にフリックしてカスタマイズするホーム画面を表示

2 アンインストールするショートカットまたはウィジェットをロングタッチ→[アンインストール]→[OK]→[OK]

◆ きせかえ／壁紙の変更

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [きせかえ]／[壁紙]／[壁紙ループ設定]→項目の選択や設定を行う

✓お知らせ

- ・きせかえや壁紙、壁紙ループ設定は、ホーム画面で →[きせかえ]／[壁紙]／[壁紙ループ設定]をタップしても設定できます。
- ・パターンの入力画面、指紋認証画面、電話の発着信画面、NX!inputのキーボード画面を変更するには、「画面のカスタマイズ」から設定します。→P49

◆ ホーム画面の追加／削除

最大12件のホーム画面を設定できます。

1 ホーム画面で →[ホーム画面一覧]

2 目的の操作を行う

追加 : [+]

並べ替え : ホーム画面のサムネイルをロングタッチ→移動先へドラッグ

削除 : [X]

- ・アイテムが配置されている場合は、削除の確認画面が表示されます。
- ・ホーム画面のサムネイルをロングタッチした後、[削除]をタップしても削除できます。

表示 : ホーム画面のサムネイルをタップ

✓お知らせ

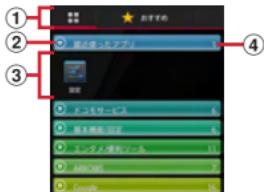
- ・ホーム画面の任意の位置でピンチインしたり、カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ→[ホーム画面一覧]をタップしたりしても、ホーム画面一覧を表示できます。
- ・ホーム画面で →[ヘルプ]をタップすると、docomo Palette UI操作ガイドが表示されます。

アプリケーション画面

アプリケーションメニューを呼び出し、登録されているアプリケーションを起動したり、本端末の設定を変更したりできます。

◆アプリケーションメニューの表示

1 ホーム画面で



- ① アプリ一覧／おすすめアプリ切り替えタブ
- ② グループ
- ③ グループ内アプリケーション
- ④ グループ内アプリケーションの数
 - ・新着アプリケーションのアイコンには■が表示されます。
 - ・アプリケーションによっては、アイコンに未読件数が表示されます。

グループ内アプリケーションの表示／非表示：グループ名をタップ

全グループ内アプリケーションの表示／非表示：ピンチアウト／ピンチイン

ホーム画面へ追加：アプリケーションまたはグループをロングタッチ→ [ホームへ追加]

アプリ一覧／おすすめアプリの切り替え：■／【おすすめ】

◆アプリケーション一覧

・アプリケーションによっては、別途お申し込み（有料）が必要なものがあります。

Chrome：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

DiXiM Player：ホームネットワーク上のTV録画番組や写真、音楽、ビデオをお手持ちの機器で視聴できるアプリケーションです。ご利用には、Wi-Fi環境が必要となります。→P124

docomo Wi-Fiかんたん接続：ドコモの公衆無線LANサービス「docomo Wi-Fi」もしくは自宅のWi-Fi環境を便利に利用するためのアプリです。Wi-FiエリアによりWi-Fiエリア内では、ワンタッチでWi-Fiへの接続／切断ができます。

Document Viewer：Microsoft officeファイルなどを表示できます。→P160

dマーケット：dマーケットを起動するアプリです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Google Play上のアプリを紹介しています。→P127

dメニュー：iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。→P127

Gmail：Googleアカウントのメールを送受信できます。→P73

Google+：大量のデータ（メールや連絡先、写真、オフィス文書など）を、さらに活用するためのSNS機能を利用できます。

-  **ICタグ・バーコードリーダー**：ICタグとバーコードを読み取るためのアプリです。
-  **IDアプリ**：電子マネーiDを利用するための設定などをを行うアプリです。→P132
-  **i コンシェル**：i コンシェルを利用するためのアプリです。i コンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。
-  **i チャネル**：i チャネルを利用するためのアプリです。
-  **milock**：指定したアプリを保護することができます。保護したアプリは起動時に認証が必要になります。
-  **NOTTV**：モバキャスを視聴できます。「NOTTV」などの放送局の番組・コンテンツをお楽しみいただけます。→P133
-  **Playストア**：Google Playを利用できます。→P127
-  **Playブックス**：ダウンロードした電子書籍を閲覧できます。
-  **Playミュージック**：音楽を再生します。
-  **Playムービー**：映画をレンタルして視聴できます。ダウンロードして好きなときに視聴することもできます。
-  **spモードメール**：ドコモのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→P68
-  **YouTube**：YouTubeの動画が見られます。→P152
-  **おサイフケータイ**：お店などの読み取り機に端末をかざすだけでお支払いなどができます。→P129
-  **カメラ**：静止画や動画を撮影します。→P144
-  **カレンダー**：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。→P157
-  **ギャラリー**：カメラで撮影したり、Webページからダウンロードして、microSDカードに保存した静止画や動画を表示できます。→P150

-  **しゃべってコンシェル**：「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。
-  **スケジュール**：スケジュールやメモを作成・管理できるアプリです。i コンシェルサービスに対応しています。
-  **スッキリ目覚まし**：設定した時刻よりも早い時間帯で、快適に起きられる時刻に鳴動する目覚ましを設定できます。→P158
-  **デモンズ体験版**：リズムに合わせてタイミング良く画面をタップするアクションゲームです。
-  **テレビ**：ワンセグを視聴します。→P137
-  **トーク**：Google トークを利用してチャットができます。→P75
-  **ドコモバックアップ**：「ケータイデータお預かりサービス」、「電話帳バックアップ」もしくは「SDカードバックアップ」をご利用いただくためのアプリです。電話帳などのデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。→P160
-  **ドコモ電話帳**：電話番号やメールアドレスなどを登録でき、連絡先から簡単な操作で連絡できます。→P62
-  **トルカ**：トルカの取得、表示、検索、更新などができます。→P133
-  **ナビ**：Googleマップナビを利用して、目的地までのルートを検索できます。
-  **フォトコレクション**：写真や動画をアップロードして、クラウド上で閲覧、整理などができるアプリです。
-  **ブラウザ**：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P75
-  **マップ**：現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行なうことができます。→P154
-  **メール**：パソコンなどとEメールの送受信ができます。→P70

- メッセージ**：SMSの送受信ができます。→P68
- メッセンジャー**：チャット機能（グループチャットなど）を利用できます。
- メディアプレイヤー**：音楽や動画を再生することができるアプリです。→P151
- メモ**：スケジュールやメモを作成・管理できるアプリです。iコンシェルサービスに対応しています。
- ローカル**：近くの場所の詳細情報を検索できます。→P156
- 遠隔サポート**：「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→P177
- 温湿度チェック**：温度・湿度センサーから読み取った温度、湿度の値を用いて情報表示を行うアプリです。
※本端末の状態や周囲の状況などにより、計測値が表示されるまでの時間がかかる場合があります。周囲温度・湿度との差異がある場合があります。計測値はあくまでも目安としてご利用ください。
- 健康生活日記**：携帯電話とパソコンを使って、楽しくからだをデザインする健康サービスです。→P161
- 検索**：本端末内の機能やWebサイトを検索します。→P159
- 災害用キット**：緊急速報「エリアメール」の受信メール確認と各種設定、災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。
- 赤外線**：電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリです。→P117
- 設定**：本端末の各種設定を行います。
- 電卓**：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P158

- 電話**：電話をかけたり、電話の設定を行うことができます。→P56
- 統合辞書+**：日本を代表する辞書をひとつのパッケージにおさめた、毎日の学習・仕事のあらゆるシーンに対応できる辞書ソフトです。→P158
- 取扱説明書**：本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

✓お知らせ

- このアプリケーション一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。プリインストールされているアプリケーションには一部アンインストールできるアプリケーションがあります。一度アンインストールしてもPlayストアで再度ダウンロードできます。→P127

◆アプリケーションメニューの管理

1 アプリケーションメニュー表示中に目的の操作を行う

アプリケーションのアンインストール：アプリケーションをロングタッチ→【アンインストール】→【OK】→【OK】

並べ替え：アプリケーションまたはグループをロングタッチ→移動先へドラッグ

- ・アプリケーションをロングタッチした後、【移動】を選択しても移動できます。

グループの追加：[]→【グループ追加】→グループ名を入力→【OK】

- ・最大50件のグループを設定できます。

グループ名の編集：グループをロングタッチ→【名称変更】→グループ名を入力→【OK】

グループのラベル変更：グループをロングタッチ→【ラベル変更】→ラベルを選択

グループの削除：グループをロングタッチ→【削除】→【OK】

表示形式の切り替え：[]→【リスト形式】／【タイル形式】

ホームアプリの情報確認：[]→【アプリケーション情報】

検索：[]→【検索】

- ・端末内のアプリケーションやWeb上の情報を検索します。

◆「おすすめ」アプリケーションのインストール

【おすすめ】タブをタップすると、ドコモがおすすめするアプリケーションが表示されます。

1 ホーム画面で [] →【おすすめ】→【おすすめアプリを見る】→アプリケーションを選択→画面の案内に従ってダウンロードを行う

- ・ダウンロードしたアプリケーションは、アプリケーションメニューの【ダウンロードアプリ】グループに表示されます。
- ・すべてのおすすめアプリを確認する場合は、【おすすめ】タブの【おすすめアプリをすべて見る】をタップします。

電話をかける

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]

- ホーム画面で→[ダイヤル]をタップしても、電話をかけられます。

2 電話番号を入力→

- 訂正する場合はをタップします。

3 通話が終了したら[終了]

✓お知らせ

- 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
- 本体にイヤホンを挿入している、またはスピーカーフォンで通話をしている場合、近接センサーを停止しますので、センサーに顔などが近づいてもディスプレイの表示は消えなくなります。
- 通話中に髪の毛の上から受話口を当てている場合、近接センサーが正常に動作しなくなり、誤って画面に触れてしまい通話が遮断される場合があります。

◆緊急通報

・本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。

なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。

また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]→緊急通報番号を入力

警察への通報：110

消防・救急への通報：119

海上での通報：118

2

✓お知らせ

- 日本国内ではドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 海外で110番、119番、118番を発信すると緊急呼通話中画面が表示される場合がありますが、通常発信されています。

◆ 通話ごとに発信者番号を通知／非通知

電話をかけるときに自分の電話番号を相手の端末に表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]→電話番号を入力→→[発信者番号通知]→[通知する]／[通知しない]→

✓お知らせ

- 発信者番号通知サービスで通知／非通知を一括設定できます。→P61

◆ プッシュ信号(DTMFトーン)を入力

電話番号に続いてポーズ(.)を入力すると、プッシュ信号を送信できます。自宅の留守番電話、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]→電話番号を入力→→[待機を追加]→プッシュ信号を入力

- 「0」～「9」、「*」、「#」を入力します。
- 電話番号を入力→→[2秒間の停止を追加]をタップしてもポーズ(.)が入力できます。(.)の場合は、2秒後にプッシュ信号が自動的に送信されます。
- 複数のメッセージを送信する場合は、ポーズで区切ります。

2 →電話がつながったら[はい]

✓お知らせ

- 通話中にプッシュ信号を送信する場合は、「通話中の操作」をご覧ください。→P59

◆国際電話（WORLD CALL）

「+」を入力して国際電話をかけます。「0」をロングタッチすると「+」が入力されます。

- ・海外利用→P163
- ・WORLD CALLの詳細は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 アプリケーションメニューで[電話]→[ダイヤル]→「0」をロングタッチ→「国番号・地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号」を入力→

- ・イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- ・国リストから選択して「+国番号」を入力する場合は、地域番号(市外局番)と電話番号を入力し、→[国際電話発信]→国を選択します。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

: 着信音、バイブレータの動作を止める

2 [操作開始]→[通話]

着信拒否 : [操作開始] → [拒否]

クイック送信 : [操作開始] → [拒否してSMS送信]
→メッセージを選択

応答保留 : → [応答保留]

伝言メモ録音 : → [伝言メモ]

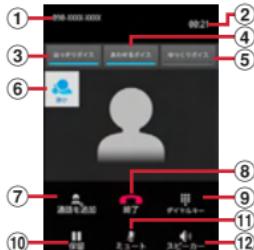
3 通話が終了したら[終了]

✓お知らせ

- ・録音した伝言メモを再生するには、アプリケーションメニューで[電話]→→[通話設定]→[伝言メモ]→[伝言メモリスト]→再生したい伝言メモを選択します。
- ・電話に出られなかったときは、ステータスバーにアイコン（→P45）が表示されます。通知パネル（→P47）を開いて不在着信を確認できます。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。



- ① 名前や電話番号、地域
 - ② 通話時間
 - ③ はっきりボイスのON/OFF^{*1}
 - ④ あわせるボイスのON/OFF
 - ⑤ ゆっくりボイスのON/OFF^{*1}
 - ⑥ はっきりボイス/ぴったりボイスの状態表示
 - ⑦ 別の相手に電話をかける
 - ⑧ 通話を終了
 - ⑨ ダイヤル入力のダイヤルパッドを表示^{*1}
ブッシュ信号 (DTMFトーン) を送信します。
 - ⑩ 通話を一時保留^{*1}
 - ⑪ マイクをオフ (消音)^{*1}
自分の声が相手に聞こえないようにします。
 - ⑫ スピーカーフォンをオン^{*1}
相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。
- *1 もう一度タップするとタップ前の状態に戻ります。
*2 キャッチホンのご契約が必要です。

◆通話音量

- ・通話中以外は通話音量を調節することはできません。

1 通話中に▲▼

◆はっきりボイス

電話中に周りの騒音を感じると、音域ごとに相手の聞こえにくい声を強調したり、相手の声質や端末の特性などの影響で起こる、受話音の「こもり感」「軽さ」を整えたりして聞き取りやすくします。

1 通話中に[はっきりボイス]

❖ぴったりボイス

はっきりボイスが動作している電話中には、揺れや移動状況（歩行中、走行中）などから現在の行動を認識して、はっきりボイスよりさらに最適な音質に調整します。

◆ゆっくりボイス

電話中に、無音区間を利用して相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくします。

- ・相手が区切りのない話しかたをしたときなどは通常の速度で聞こえます。

1 通話中に[ゆっくりボイス]

◆あわせるボイス

自分の年齢や好みに合わせて、通話中の音声を聞き取りやすくします。通話中は補正の強弱を設定できます。

- ・「自分からだ設定」(→P113)で自分の年齢を入力するか、複数のサンプルから聞き取りやすいものを選択しておくと、お客様に合った聞こえかたに自動的に調節されます。

1 通話中に[あわせるボイス]→調節レベルを選択

発着信履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

1 アプリケーションメニューで[電話]→[発着信履歴]



①全てボタン

発着信履歴のすべてを表示します。

②着信ボタン

着信履歴のみを表示します。

③発信ボタン

発信履歴のみを表示します。

④履歴アイコン

発信履歴は **To ***、着信履歴は **From ***、不在着信履歴は **X*** がそれぞれ表示されます。

⑤国際電話アイコン

国際電話発着信時に表示されます。

⑥名前や電話番号

タップしてアクションリストを表示します。アクションリストの項目をタップして、電話発信、SMS送信、電話帳登録またはプロフィール画面の表示などを行います。ロングタッチすると、履歴を削除したり電話番号を編集して発信したりできます。

⑦発信アイコン

タップして電話を発信します。

■履歴画面のメニューについて

履歴画面で をタップして、全件削除、通話設定(→P61)、電話アプリ起動時の画面に設定の操作ができます。

通話設定

ドコモのネットワークサービスや通話、インターネット通話に関するさまざまな設定を行います。

1 アプリケーションメニューで【電話】→≡→【通話設定】

2 各項目を設定

ネットワークサービス：次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

声の宅配便：サービスの利用、設定確認・変更を行います。

留守番電話サービス：サービスの開始／停止、呼出時間設定などを行います。

転送でんわサービス：サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。

キャッチホン：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

発信者番号通知：通知設定、設定確認を行います。

迷惑電話トップサービス：登録、削除、登録件数の確認を行います。

番号通知お願いサービス：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

通話中着信設定：着信設定を行います。

着信通知：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

英語ガイダンス：設定、設定確認を行います。

遠隔操作設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

公共モード（電源OFF）設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

- 公共モード（ドライブモード）を設定するには、ホーム画面で≡→【本体設定】→【音・バイブ】→【公共モード】にチェックを付けます。

伝言メモ：伝言メモの設定や録音した伝言の再生／削除を行います。

- 伝言メモは1件あたり最長60秒、最大10件録音できます。

海外設定：設定方法→P167

通話詳細設定：通話に関する詳細設定を行います。

音・バイブレーション設定：音・バイブレーションに関する設定を行います。

応答拒否SMS：着信時に利用できる応答拒否SMSの編集を行います。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを確認します。

IP通話アプリの音質サポート：音質サポートを使用するかどうかを設定します。

- Voice over IPの技術を使用したアプリケーションでの通話は、ネットワークの遅延時間などにより、電話と比較して音質が劣る場合があります。本機能は、アプリケーションの実現している音質を元に、騒音環境下での聞き取りやすさ改善（はっきりボイス for コミュニケーションアプリ）、およびノイズや通話相手側に聞こえるエコー量の削減を行います。音の途切れや遅延などに関する効果はありません。
- アプリケーションのバージョンアップを行ったことにより、本機能の効果が得られなくなる場合があります。その場合は、本設定をオフにしてください。
- 使用するアプリケーションによっては、本機能の効果が得られないことがあります。その場合は、本設定をオフにしてください。

- ・本機能は、Bluetoothを使用した通話時には動作しません。

着信拒否：着信を拒否したい相手の条件を設定します。

- ・[ブラックリスト]には最大100件の電話番号を登録することができます。

響カット：声の響く場所などで電話中に残響音を抑え、相手に聞き取りやすくするかどうかを設定します。

アカウント：インターネット通話のアカウントに関して設定します。

インターネット通話使用：インターネット通話の使用方法を設定します。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを入力できます。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。

- ・クラウドの利用には、ドコモ電話帳アプリが必要となり、クラウドの利用開始を行う必要があります。ドコモ電話帳アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」の画面が表示され、クラウドの利用を開始できます。

1 アプリケーションメニューで[ドコモ電話帳]→[連絡先]



① 名前

タップしてプロフィール画面を表示します。サムネイル画像をタップすると、電話発信、SMS送信などできます。

② 登録ボタン

電話帳を新規作成します。

③ グループボタン

電話帳グループを表示します。

④ 検索ボタン

電話帳検索画面を表示します。

⑤ インデックスボタン

電話帳に登録されているデータを、「あ、か、さ…」毎に区切り表示します。→P64

■ 電話帳リストのメニューについて

電話帳リストで [≡] をタップすると、次のメニューを操作することができます。

削除：電話帳リストを削除できます。

全体設定：電話帳の海外利用設定やWi-Fi利用設定について設定できます。

クラウドメニュー：クラウドの設定を変更できます。

インフォメーション：i コンシェルなどのお知らせを確認できます。

電話帳変更お知らせ一覧：電話帳変更お知らせ機能で受信した通知を確認できます。

ヘルプ：電話帳の詳細を確認できます。

その他：電話帳のインポート／エクスポート（→P66）、センターの同期、赤外線送信、表示順の変更、表示するアカウントの設定などを操作できます。

◆ 電話帳を登録

1 電話帳リストで[登録]→必要に応じてアカウントを選択→各項目を設定→[登録完了]

- ・クラウドと同期できるのは、docomoアカウントで登録した連絡先データです。
- ・FUJITSUアカウントの場合、ミドルネームのふりがな、住所の建物名、私書箱を設定できません。また、FUJITSUアカウントに変更すると、ドコモサービスで使用しているデータが欠損してしまう場合があります。

◆ 履歴から電話帳を登録

1 履歴画面で相手を選択→[電話帳に登録]

- ・必要に応じてアカウントを選択します。

2 [新規登録]→各項目を設定→[登録完了]

- ・すでに登録済みの電話帳に追加登録する場合は、登録したい電話帳の名前を選択します。

◆ 電話帳の編集

1 電話帳リストで連絡先を選択→[編集]→各項目を編集→[登録完了]

◆ 電話帳の削除

1 電話帳リストで削除する連絡先を選択→[≡]→[削除]→[OK]

- ・電話帳リストで [≡] → [削除] をタップすると、連絡先を選択して削除できます。[全選択] をタップすると、全件削除できます。

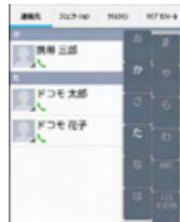
◆電話帳を検索

電話帳を50音で検索できます。

1 電話帳リストで[インデックス]

50音インデックス「あ、か、さ…」が表示されます。

2 検索する文字をタップ



- 電話帳リストは、選択した電話帳を先頭にして表示されます。

❖表示する電話帳の設定

特定のアカウントのグループに含まれる電話帳の表示／非表示を設定できます。

1 電話帳リストで[その他]→[表示するアカウント]→表示する電話帳を設定

◆電話帳をグループごとに表示

登録時に設定したグループ別に電話帳を表示できます。

1 電話帳リストで[グループ]→グループを選択

- 【閉じる】をタップすると、グループリストが閉じます。

❖グループの新規作成

1 グループリストで[追加]→各項目を設定→[OK]

グループ名の編集：グループリストで編集するグループをロングタッチ→【グループ編集】→各項目を設定→[OK]

グループの削除：グループリストで削除するグループをロングタッチ→【グループ削除】→[OK]

❖お知らせ

- 「すべて」、「グループなし」、「お気に入り」、Google既定のグループでの編集／削除はできません。

❖電話帳のグループ登録

1 グループリストで電話帳をロングタッチ→そのまま登録先グループの上にドラッグ＆ドロップ

グループから削除：グループリストで登録中のグループをタップ→電話帳をロングタッチ→そのまま登録中グループの上にドラッグ＆ドロップ

✓お知らせ

- ・グループ登録はdocomoアカウントとGoogleアカウントのみ設定できます。

◆コミュニケーション

発着信、SMSの送受信、spモードメール、SNSのメッセージ※の送受信履歴が表示されます。

※クラウドを利用開始の上、マイSNS機能を利用している場合のみ表示されます。

1 アプリケーションメニューで[ドコモ電話帳]→[コミュニケーション]

表示項目の変更 : [表示項目] →表示する項目を
チェック → [OK]

◆タイムライン

「フレンドNEWS」機能、および「マイSNS」機能によるSNS・ブログのタイムラインが表示されます。

※表示するためにはクラウドを利用開始している必要があります。

1 アプリケーションメニューで[ドコモ電話帳]→[タイムライン]

表示項目の変更 : [表示項目] →表示する項目を
チェック → [OK]

◆プロフィール画面の表示

1 電話帳リストで名前を選択



① アカウントアイコン

② 顔写真と名前

③ 電話帳のグループ

④ 個人登録情報

項目をタップして、電話を発信したり、Eメールを送信したりできます。また、ロングタッチするとオプションを表示します。

⑤ お気に入り

タップすると「お気に入り」に追加されます。

⑥ SMS送信

タップすると、SMSを送信できます。

⑦ 声の宅配便発信

タップすると、声の宅配便に発信できます。

■プロフィール画面のメニューについて

プロフィール画面で [≡] をタップして、赤外線、共有、削除、着信音の設定、統合／分割、SNS電話帳連携設定ができます。

◆電話帳のインポート／エクスポート

1 電話帳リストで [その他] → [インポート／エクスポート] → 項目を選択 → それぞれの操作を行う

SIMカードからインポート：ドコモminiUIMカードに保存した電話帳から追加したい電話帳を指定してインポートします。電話番号、メールアドレスとともに「その他」としてインポートされます。

SDカードからインポート：microSDカードに保存されている電話帳データ（vCardファイル）を、指定したアカウントに登録します。ファイルが複数ある場合は、登録するファイルを選択します。

SDカードにエクスポート：「マイプロフィール」を除く電話帳データ（vCardファイル）を、microSDカードに保存します。

表示可能な電話帳を共有：電話帳データをBluetooth通信やメールに添付して全件送信します。

✓お知らせ

- 他の端末との間で電話帳データの全件受け渡しをしたい場合は、赤外線通信によるインポート／エクスポートをご利用ください。
- 赤外線通信中に、音声着信や他のアプリの起動を行った場合には赤外線通信は中断します。
- 赤外線通信で全件送信しても、相手の端末によっては「マイプロフィール」が受信されない場合があります。
- 本端末からスマートフォン以外の端末へBluetooth通信で電話帳全件送信を行うと、正常にデータが移行できません。

・ SDカードバックアップアプリを使用すると、電話帳やその他のデータを一括でバックアップ／復元することができます。詳細は、「SDカードバックアップ」をご覧ください。→P160

◆マイプロフィール

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を入力したり編集したりできます。

1 アプリケーションメニューで [ドコモ電話帳] → [マイプロフィール] → [編集] → 各項目を設定 → [登録完了]

◆名刺の作成

マイプロフィールから名刺を作成し、相手と交換できます。

- 名刺の作成や交換を利用するには、名刺作成アプリをインストールする必要があります。
- 名刺の新規作成／編集の利用時は、名刺作成アプリのガイド画面が表示されますので【利用開始】をタップします。

1 アプリケーションメニューで [ドコモ電話帳] → [マイプロフィール]

2 [新規作成] → [利用開始] → テンプレートを選択 → [選択] → [決定] → [編集ツール] → 各項目を編集

編集：[名刺編集] → [編集ツール] → 各項目を編集
→ [編集完了] → [上書き保存] / [新規保存]

削除：[名刺削除] → [OK]

3 [編集完了]→保存先を選択

- 名刺交換を行う場合は、保存先に電話帳（マイプロフィール）を選択する必要があります。

◆名刺の交換

対応機種どうしだれば、作成した名刺を相手と交換できます。

- アプリケーションメニューで[ドコモ電話帳]→[マイプロフィール]→[この名刺を交換する]→ガイダンスに従って操作

メール／ウェブブラウザ

spモードメール

i モードのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信をします。

絵文字、デコメール[®]の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

・ spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック (spモード編)』をご覧ください。

1 アプリケーションメニューで[spモードメール]

以降は画面の指示に従って操作します。

SMS

携帯電話番号を宛先にして、最大全角70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）の文字メッセージを送受信します。

◆ SMSを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[メッセージ] →

2 [To]→携帯電話番号を入力

・直接入力する場合は、半角で入力してください。

3 [メッセージを入力]→メッセージを入力→

✓お知らせ

・海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

・宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。）携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。

◆ SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを開いて通知をタップして、新着SMSを確認します。

✓お知らせ

・本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、新着SMS通知の設定に関わらず着信音やバイブルートが鳴動しない場合があります。

・本端末のメモリ容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリケーションを削除するなどして、メモリ空き容量を増やしてください。→P101、129

◆送受信したSMSの表示

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択

・をタップして電話をかけることができます。

◆SMSに返信

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→[メッセージを入力]→メッセージを入力→

◆SMSを転送

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[転送]

3 [To]→携帯電話番号を入力→

◆SMSを削除

〈例〉SMSを1件削除する

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[削除]

メッセージスレッドの削除：メッセージスレッドをロングタッチ→

すべてのメッセージスレッドの削除：→[すべてのスレッドを削除]

3 [削除]

◆SMSの設定

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→→[設定]

2 各項目を設定

古いメッセージを削除：保存件数が上限に達したら古いメッセージを削除するかを設定します。

メッセージの制限件数：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。

バックアップ：本体とmicroSDカード間でメッセージをコピーします。

受取確認通知：送信するメッセージの受取確認を毎回要求するかを設定します。

SIMカードのメッセージ：ドコモminiUIMカードに保存したメッセージを管理します。

通知：メッセージ受信時にステータスバーで通知するかを設定します。

着信音を選択：メッセージ受信時の着信音を設定します。

バイブレーション：メッセージ受信時のバイブレーターの動作を設定します。

LED：メッセージ受信時のお知らせLEDの動作を設定します。

Eメール

mopera Uや一般的なプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

◆ mopera Uのメールアカウントの設定

mopera Uのアカウントを設定して、mopera Uメールを利用します。

- mopera Uメールのメールボックス容量は約50MBです。1メール当たり最大約5MBまでの添付ファイルを送受信できます。

■ POPサーバーを利用する場合

- 1 アプリケーションメニューで[メール]
- 2 [メールアドレス]→mopera Uのメールアドレスを入力→[パスワード]→mopera Uのパスワードを入力→[手動セットアップ]→[POP3]
- 3 [ユーザー名]→mopera UのユーザIDを入力→[パスワード]→mopera Uのパスワードを入力→[POP3サーバー]→「mail.mopera.net」を入力
- 4 [セキュリティの種類]→セキュリティを選択
- 5 入力内容を確認→[次へ]

- 6 [SMTPサーバー]→「mail.mopera.net」を入力→mopera UのユーザIDとパスワードの入力内容を確認→[次へ]

- 7 オプションの設定画面で[受信トレイを確認する頻度]などを設定→[次へ]

- 8 メールアカウントの登録画面で[あなたの名前]→名前を入力→[次へ]

◆ 一般プロバイダのメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

- 1 アプリケーションメニューで[メール]

- 2 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→[パスワード]→パスワードを入力→[次へ]

以降は画面の指示に従って操作します。

✓お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作2で[手動セットアップ]をタップしてアカウント設定を手動で入力します。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B (Outbound Port 25 Blocking)：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。

- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、メール一覧画面で
[≡] → [設定] → [アカウントを追加] をタップします。

◆ Eメールを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面上部のアカウントをタップして切り替えます。

2

3 [To]→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、[≡] → [Cc／Bccを追加] をタップします。

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成します]→メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、[≡] → [ファイルを添付] → ファイルを選択します。

6

✓お知らせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

◆ Eメールの受信／表示

1 アプリケーションメニューで[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面上部のアカウントをタップして切り替えます。
[統合ビュー] をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在した受信トレイが表示されます。各メールアカウントはEメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

2 受信トレイを更新するには

3 Eメールを選択

✓お知らせ

- アカウントの設定で受信トレイの確認頻度とメール着信通知（→P72）を設定していると、通知アイコンがステータスバーに表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、受信トレイが表示されます。

◆ Eメールに返信

1 Eメールを表示

2

全員に返信 :  → [全員に返信]

3 [メールを作成します]→メッセージを入力



◆Eメールを転送

- Eメールを表示→[転送]→[To]→メールアドレスを入力→

◆Eメールを削除

- Eメールを表示→[削除]

◆Eメールの設定

Eメールに関するさまざまな設定をします。

❖Eメールの全般の設定

- アプリケーションメニューで[メール]

- [設定]→[全般]

3 各項目を設定

自動表示：メッセージを削除した後に表示する画面を設定します。

メッセージの文字サイズ：文字サイズを設定します。

全員に返信：メールを返信する際に毎回宛先の全員に返信するかを設定します。

画像の自動表示を解除：インライン画像の自動表示の設定を手動で表示するように設定解除します。

❖Eメールのアカウント設定

- アプリケーションメニューで[メール]

- [設定]→[アカウントを選択]

3 各項目を設定

アカウント名：アカウント名を編集します。

名前：名前を編集します。

署名：署名を登録します。

クリック返信：Eメール作成時に頻繁に挿入する文章を編集します。

優先アカウントにする：Eメール作成時にこのアカウントを優先するかを設定します。

受信トレイの確認頻度：受信トレイの確認頻度を設定します。

添付ファイルのダウンロード：IMAPアカウントの場合、Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかを設定します。

メール着信通知：Eメール受信時にステータスバーで通知するかを設定します。

着信音を選択：Eメール受信時の着信音を設定します。

バイブレーション：Eメール受信時のバイブレータの動作を設定します。

受信設定：受信サーバーについて設定します。

送信設定：送信サーバーについて設定します。

アカウントを削除：アカウントを削除します。

❖Eメールのバックアップ／復元

- アプリケーションメニューで[メール]

- [設定]→[バックアップ／復元]→[microSDへバックアップ]／[本体へ復元]→[開始]

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

- Gmailを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Gmail起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ Gmailを開く

1 アプリケーションメニューで[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

❖ Gmailの更新

1 受信トレイで

本端末のGmailとWebサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

◆ Gmailを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[Gmail]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面上部のアカウントをタップして切り替えます。

2

3 [To]→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、→[Cc／Bccを追加]をタップします。

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成]→メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、→[ファイルを添付]→ファイルを選択します。

6

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- ・エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- ・最大50件保存できます。
- ・電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないとときは受信に失敗することがあります。
- ・受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

◆緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。

- ・ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- ・お買い上げ時は、マナーモード中でも鳴動します。鳴動しないように設定できます。→P74

◆受信したエリアメールの表示

- 1 アプリケーションメニューで[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]→エリアメールを選択

・初回起動時は「ご利用にあたって」を読み、[同意して利用する]をタップします。

◆緊急速報「エリアメール」設定

- 1 アプリケーションメニューで[災害用キット]→[緊急速報「エリアメール」]→[設定]

2 各項目を設定

受信設定：エリアメールを受信するかを設定します。

着信音：着信音の鳴動時間とマナーモード時の着信音の動作を設定します。

受信画面および着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの受信画面と着信音を確認します。

その他の設定：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外に受信するエリアメールを新規登録／編集／削除します。

Google トーク

Google トークは、Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。本端末のGoogle トークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- Google トークを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Google トーク起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ オンラインチャット

❖ Google トークの起動

1 アプリケーションメニューで[トーク]

友だちリストが表示されます。

- Google トークの詳細については、次の操作でモバイルヘルプをご覧ください。

Google トークの友だちリストで  → [ヘルプ]

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。

本端末では、バケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

ダブルタップ：拡大します。

- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

ズームコントロール：画面をフリックしてズームコントロールを表示します。で拡大し、で縮小します。

- 現在表示しているWebページの拡縮率を、次にWebページを開いたときに引継ぐことができます。Webページを拡大／縮小した時などに表示されるアイコンをタップして、引継ぎの有効（）／無効（）を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパンして見たい部分を表示します。

◆ ブラウザを起動してWebサイトを表示

- 1 アプリケーションメニューで[ブラウザ]
ホームページ設定に設定しているホームページが表示されます。
- 2 画面を下にスライド→アドレスバーにURL
／キーワードを入力
- 3 [Go]／キーワードの候補を選択

◆ 新しいブラウザウィンドウを開く

複数のブラウザウィンドウを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

- 1 Webサイト表示中に画面を下にスライド→
画面上部の≡
 - 2 +
新しいブラウザウィンドウが開き、ホームページ設定に設定しているホームページが表示されます。
切り替え：ブラウザウィンドウを選択
閉じる：ブラウザウィンドウの×
- シークレットタブでWebサイトを表示**：≡→【新しいシークレットタブ】→アドレスバーにURL／キーワードを入力して操作
- シークレットタブで表示中は画面上部に≡が表示されます。

◆ 履歴からWebサイトを表示

- 1 Webサイト表示中に≡→[ブックマーク]→
[履歴]
 - よく閲覧するWebサイトの履歴を表示する場合は、[よく使用]をタップします。
- 2 Webサイトの履歴を選択

◆ Webページを保存して表示

表示中のWebページを保存してオフラインで表示します。

❖ Webページの保存

- 1 Webサイト表示中に≡→[オフラインで読めるよう保存]

❖ 保存したWebページの表示

- 1 Webサイト表示中に≡→[ブックマーク]→
[保存したページ]
 - 2 保存したページを選択
- 削除**：保存したページを長押し→[保存したページを削除]
- 保存したページを表示しているウィンドウは画面上部に①が表示されます。

◆ ブックマークを登録してすばやく表示

❖ ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に≡→[ブックマークを保存]

ブックマークの詳細情報が表示されます。

2 [OK]

❖ ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に≡→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

編集：ブックマークをロングタッチ→ [編集] →各項目を設定→ [OK]

削除：ブックマークをロングタッチ→ [削除] → [OK]

◆ 先読み機能

表示中のWebサイトのリンク先ページを専用キャッシュに読み込みます。

あらかじめ読み込んでおくと、リンク先をタップした際、回線状況に関わらず素早くリンク先のページを表示することができます。

- ・リンク先のページによっては、本機能が利用できない場合があります。

1 Webサイトを表示中に画面を下にスライド→画面上部の≡→[はい]

先読み中はステータスバーに通知アイコンが表示されます。

- ・≡→ [先読み] とタップしても操作できます。
- ・先読み中に通知パネルを開いて [先読み中] をタップすると、先読みを中断します。

✓お知らせ

- ・先読みしたリンク先を表示した際に、ページによっては正しく再現されない場合があります。
- ・次の場合は先読みキャッシュが消去されます。
 - 先読み開始時
 - ブラウザ終了時
 - ブラウザの設定からキャッシュの消去を行った場合
 - 再読み込みを行った場合
- ・先読み機能はリンク先ページの取得が終了するまで通信を行います。そのためパケット通信料金が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ・シークレットタブを表示している場合は、先読み機能は利用できません。

◆ Webサイトのリンクを操作

Webサイトに表示されているリンクを操作します。

URLの場合

- ・タップしてWebサイトを開きます。
- ・ロングタッチしてWebサイトを新しいタブで開く、リンクを保存、コピーします。

電子メールアドレスの場合

- ・タップしてメールを作成します。
- ・ロングタッチしてメールアドレスをコピーします。

電話番号の場合

- ・タップして電話番号に発信します。
- ・ロングタッチして電話番号を連絡先に追加、コピーします。

ファイルの場合

- ・タップしてファイルを閲覧／保存します。
- ・ロングタッチしてファイルを保存します。

✓お知らせ

- ・保存したファイルは、Document Viewerなどで確認できます。

◆ Webサイトに表示されている画像を保存

1 Webサイト表示中に画像を選択(ロングタッチ)→[画像を保存]

- ・保存した画像は、ギャラリー（→P150）で確認できます。

◆ Webサイトの語句を辞書で検索

Webサイトに表示されている語句を辞書で検索することができます。

- ・ブラウザの設定の【全般】で、[すぐ辞書を表示する]を設定して利用します。→P79

1 Webサイト表示中にテキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- ・テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。

2 表示された吹き出しをタップ

検索結果一覧が表示されます。

- ・該当する語句が辞書にないときは、吹き出しが表示されません。

3 候補一覧から調べたい語句をタップ

◆ ブラウザの設定

1 Webサイト表示中に  → [設定] → [全般] / [プライバシーとセキュリティ] / [ユーザー補助] / [高度な設定] / [帯域幅の管理] / [Labs]

2 各項目を設定

全般：ブラウザ起動時のホームページ、ダウンロードファイルの保存先、フォームの自動入力、自動入力テキスト、辞書検索について設定します。

プライバシーとセキュリティ：キャッシュやブラウザの履歴の消去、警告画面の表示／非表示、Cookie、フォームデータ、現在地情報、パスワードについて設定します。

ユーザー補助：拡大縮小設定の上書き、テキストのサイズ、画面の反転レンダリングについて設定します。

- ・[コントラスト] は [反転レンダリング] にチェックが付いている場合に調整できます。

高度な設定：検索エンジンの設定、タブのバックグラウンド表示、JavaScriptの設定、1つのアプリに複数のタブの許可、プラグインの設定、ウェブサイト設定、先読み機能の設定、ページコンテンツ、初期設定リセットについて設定します。

- ・先読み機能の設定で「先読み表示速度優先」にチェックを付けている場合は、先読みしたページ内JavaScriptの動作や新たな通信・更新表示などが一部制限されます。この結果、ページが正しく表示されない場合があります。なお、「先読み表示速度優先」はブラウザでタブを複数表示していないときに有効です。

・ページコンテンツの「ページの自動調整」にチェックを付けている場合は、Webページのテキストやその他の要素が画面に合わせて自動的に最適化されて表示されます。

テキストの列をダブルタップすると、そのテキストが画面の幅に収まるように調整されて表示されます。

帯域幅の管理：検索結果やウェブページのプリロード、画像の読み込みについて設定します。

Labs：クリックコントロールや全画面の表示について設定します。

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で  → [本体設定] を選択して表示される設定メニューから、各種設定を行います。

■ プロフィール

メニュー	参照
マイプロフィール	66
初期設定	スライドイン機能設定
	画面ロックの認証設定
	セキュリティ解除方法
	かんたんお引越し

■ 無線とネットワーク

メニュー	参照
Wi-Fi	86
Wi-Fi簡単登録	AOSS方式
	WPS方式
Bluetooth	119
FMトランスミッタ	周波数設定
その他...	データ使用
	機内モード
	VPN設定
	テザリング
	NFC／おサイフケータイ設定
モバイルネットワーク	84
	92
	165
Bluetooth Low Energy 設定	121

■ 端末

メニュー		参照
音・バイブ	音量	94
	気配り着信	93
	公共モード	61
	マナーモード	92
	マイク入力	94
	着信音	
	着信LED	93
	着信時のバイブループション	94
	通知音	
	ダイヤルパッドのタッチ操作音	
	タッチ操作音	
	画面ロックの音	
	充電通知バイブ	
	ロック解除時バイブ	
はっきりタッチ	はっきりタッチ	94
	振動の強さ	
	歩行中の強度アップ	

メニュー		参照
ディスプレイ	画面の明るさ	95
	スリープ／持ってる間ON	95
	フォトスクリーン	95
	壁紙	51
	ホーム画面切替	34
	ロック画面の表示	96
	ロック画面の消灯時間	96
	画面のカスタマイズ	49
	ナビゲーションバー	96
	電池アイコン	96
	画面の自動回転	96
	フォント	96
	フォントサイズ	97
	プライバシービュー	97
	プライバシービューの濃さ	
	あわせるズーム	97
	インテリカラー	97
	戻ってシェイク	97
	利き手	97
	うっかりタッチサポート	98

メニュー		参照
マルチメディア	動画補正	98
	静止画補正	98
	Dolby Mobile設定	98
	動画ジャンル設定	
	音楽ジャンル設定	
	エフェクト自動設定	
ストレージ	SDカードのマウント解除／SDカードをマウント	99
	SDカード内データを消去	
	USBストレージのマウント解除／USBストレージをマウント	123
	電池	99
NX!エコ		99
アプリケーション		100

■ ユーザー設定

メニュー		参照
ドコモサービス	アプリケーション管理	—
	ドコモアプリWi-Fi利用設定	
	ドコモアプリパスワード	
	オートGPS	
	ドコモ位置情報	
	docomo Wi-Fiかんたん接続	
	データ量確認アプリ	
	オープンソースライセンス	
	位置情報サービス	
	Googleの位置情報サービス	154
位置情報サービス	GPS機能	154
	位置情報とGoogle検索	154

メニュー		参照
セキュリティ	画面ロックの認証設定	104
	セキュリティ解除方法	104
	指紋設定	108
	所有者情報	106
	SIMカードロック設定	103
	パスワードを表示する	108
	パスワードマネージャー	108
	プライバシーモード設定	109
	デバイス管理機能の選択	—
	提供元不明のアプリ	111
	信頼できる認証情報	112
	SDカードからインストール	112
	認証ストレージの消去	112
	SDカードパスワード設定	112
その他...	自分からだ設定	113
	スライドイン機能設定	114
	言語と入力	41 41 43 114
	バックアップとリセット	177
	卓上ホルダ充電	32

■ アカウント

メニュー	参照
アカウントを追加	115

■ システム

メニュー	参照
日付と時刻	日付と時刻の自動設定
	タイムゾーンを自動設定
	日付設定
	時刻設定
	タイムゾーンの選択
	24時間表示
	日付形式の選択
ユーザー補助	大きい文字サイズ
	電源ボタンで通話を終了
	画面の自動回転
	パスワードの音声出力
	テキスト読み上げの出力
	ウェブアクセシビリティの拡張

メニュー	参照
開発者向けオプション	スリープモードにしない USBデバッグ 擬似ロケーションを許可 タップを表示 ポインタの位置 レイアウト境界を表示 ウィンドウアニメスケール トランジションアニメスケール Animator再生時間スケール 厳格モードを有効にする
	CPU使用状況を表示
	すべてのANRを表示
	—
	—
	—
	—
	—
	—
	—
端末情報	ソフトウェア更新 端末の状態 法的情報 技術基準適合証明 モデル番号 Androidバージョン ベースバンドバージョン カーネルバージョン ビルド番号
	180
	116
	—
	—
	—
	—
	—
	—

◆お知らせ

- ・[開発者向けオプション] のUSBデバッグ機能を利用するためには、パソコン側にUSB ドライバをインストールする必要があります。詳細については、次のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
<http://spf.fmworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/>
- ・[開発者向けオプション] のUSBデバッグや擬似ロケーションなどのソフトウェア開発者用機能については、次のホームページをご覧ください。
<http://developer.android.com/>

無線とネットワーク

◆アクセスポイント(APN)の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント(spモード、mopera U)はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- ・お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。
- ・テザリングを有効にしているときは、アクセスポイントの設定はできません。→P90

◆利用中のアクセスポイントの確認

- 1 ホーム画面で≡→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

❖ アクセスポイントの追加（新しいAPN）

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- 1 ホーム画面で → [本体設定] → 無線とネットワークの[その他...] → [モバイルネットワーク] → [アクセスポイント名]
- 2 → [新しいAPN]
- 3 [名前] → ネットワークプロファイル名を入力 → [OK]
- 4 [APN] → アクセスポイント名を入力 → [OK]
- 5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力 → → [保存]

✓お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更してAPNの一覧画面に表示されなくなった場合は、アクセスポイントの初期化を行ってください。

❖ アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

- 1 ホーム画面で → [本体設定] → 無線とネットワークの[その他...] → [モバイルネットワーク] → [アクセスポイント名]

- 2 → [初期設定にリセット]

✓お知らせ

- APNの一覧画面でアクセスポイントを選択し、 → [APNを削除] をタップして、アクセスポイントを1件ずつ削除することもできます。

❖ spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖ mopera Uの設定

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

1 ホーム画面で≡→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 [mopera U]／[mopera U設定]

✓お知らせ

- [mopera U設定] は、mopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

◆ Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN (IEEE 802.11b/g/n) とBluetooth機能は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

❖ Wi-FiをONにしてネットワークに接続

1 ホーム画面で≡→[本体設定]

2 [Wi-Fi]を[ON]

3 [Wi-Fi]→Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、[接続]をタップします。
- Wi-Fiネットワークを選択後、接続を選択する画面が表示される場合があります。

✓お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GSMネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、「[プライベートなIPアドレスが割り当てられました。接続が制限されています。]」と表示されます。パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても「[プライベートなIPアドレスが割り当てられました。接続が制限されています。]」と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- Wi-Fi利用時にドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合には、あらかじめWi-Fiオプションパスワードの設定が必要です。設定するには、ホーム画面で→[本体設定]→[ドコモサービス]→[ドコモアプリWi-Fi利用設定]で「[Wi-Fiオプションパスワード]」をタップして操作してください。

❖Wi-Fiネットワークのスキャン

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で→[本体設定]→[Wi-Fi]→→[スキャン]

❖Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で→[本体設定]→[Wi-Fi]

2 +

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

- セキュリティは「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」が設定可能です。

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→[保存]

❖Wi-Fiネットワークの切断

1 ホーム画面で→[本体設定]→[Wi-Fi]

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→[切断]

✓お知らせ

- Wi-FiをOFFにしてWi-Fiネットワークを切断した場合、次回Wi-FiのON時に接続可能なWi-Fiネットワークがあるときは、自動的に接続されます。

❖ Wi-Fi Direct

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器どうしで接続ができます。

- ・あらかじめWi-FiをONにしてください。
- ・本機能は、PlayストアからWi-Fi Direct機能を利用するアプリケーションを入手し、インストールすることで利用できます。

1 ホーム画面で → [本体設定] → [Wi-Fi] → → [Wi-Fi Direct] を [ON] / [OFF]

❖ Wi-Fiの詳細設定

1 ホーム画面で → [本体設定] → [Wi-Fi]

2 → [詳細設定]

3 各項目を設定

ネットワークの通知：Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能なときに通知するように設定します。

Wi-FiオートON／OFF：一度接続したWi-Fiエリアで、利用可能なエリアを検出したときに、自動でWi-FiをON／OFFにするかを設定します。

画面消灯時のWi-Fi設定：本端末の画面がオフになったときや充電しているときに、Wi-Fiを使用するかを設定します。

Wi-Fi周波数帯域：Wi-Fiの周波数帯域を設定します。

MACアドレス／IPアドレス：MACアドレス、IPアドレスが表示されます。

✓お知らせ

- ・[Wi-FiオートON／OFF] は、機内モードがONまたはWi-FiテザリングがONの場合、動作しません。
- ・[Wi-FiオートON／OFF] は、Wi-Fiエリアの情報が変わった場合などに自動で接続できないことがあります。その場合は、手動で接続してください。

◆ Wi-Fiネットワークの簡単登録

AOSS™またはWPSに対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

1 ホーム画面で → [本体設定] → [Wi-Fi簡単登録]

2 登録方式を選択

AOSS™方式：[AOSS方式] → アクセスポイント側でAOSS™ボタンを押す

WPS方式：[WPS方式] → [プッシュボタン方式] / [PIN入力方式(8桁)] / [PIN入力方式(4桁)] → アクセスポイント側で操作

- ・プッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、本端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力後、[OK] をタップします。

✓お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。
- 無線LANアクセスポイント側のセキュリティがWEPに設定されている場合は、WPS方式で接続できません。
- AOSS™方式は2.4GHzのみに対応しています。

◆FMトランシッタ

本端末に保存した音楽などをFM電波で送信して、FMラジオやカーステレオなどで聴くことができます。

1 ホーム画面で≡→[本体設定]

2 [FMトランシッタ]を[ON]

3 [FMトランシッタ]→[周波数設定]→周波数を選択

4 受信機器側で周波数を合わせる

✓お知らせ

- 本端末が次の状態の場合は、FMトランシッタを利用できません。また、FMトランシッタがONのときに次のような状態になった場合、FMトランシッタは自動的にOFFになります。ただし、音声通話中と電話着信中はOFFにはなりませんが、音声は出力されません。
 - 音声通話中、電話着信中、機内モード中、Bluetooth機能ON中、イヤホン接続中、MHL出力中、国際ローミング中
 - 電源を入れてから一度も圏内に入っていない状態のとき

◆データ使用

モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有效地にしたり、グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定をしたりできます。

1 ホーム画面で≡→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[データ使用]

2 [モバイルデータ]を[ON]

データ使用の管理画面が表示され、期間ごとやアプリケーションごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。

- [モバイルデータの制限を設定する]にチェックを付けると、使用量の制限を設定できます。
- [モバイルデータの制限を設定する]にチェックを付けた状態で、≡→[バックグラウンドデータ制限]にチェックを付けるとバックグラウンドデータを制限することができます。

◆機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi、テザリング、Bluetooth機能、FMトランシッタ）が無効になります。ただし、Wi-FiおよびBluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

1 ホーム画面で≡→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[機内モード]を[ON]

◆ VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

◆ VPNの追加

- 1 ホーム画面で≡→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[VPN設定]→[VPNプロフィールの追加]

- 2 VPN設定の各項目を設定→[保存]

◆ VPNへの接続

- 1 ホーム画面で≡→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[VPN設定]

- 2 接続するVPNを選択

- 3 必要な認証情報を入力→[接続]

- VPNに接続すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

◆ VPNの切断

- 1 通知パネルを開く

- 2 VPN接続中を示す通知を選択

- 3 VPN設定画面で接続中のVPNをタップ→[切断]

◆ テザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、USBケーブルやWi-Fiで接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようになる機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能をご利用になれません。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリケーションが正常に動作しない場合があります。

✓お知らせ

- ホーム画面で≡→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[テザリング]→[ヘルプ]で、テザリングについての情報を見ることができます。

❖ USBテザリング

本端末を別売りのPC接続用USBケーブル T01でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブルで接続

2 ホーム画面で≡→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[テザリング]

3 [USBテザリング]

- Windows XPパソコンをお使いの場合はUSBテザリングをOFFにせずに、パソコンからUSBケーブルを取り外してください。

4 注意事項の詳細を確認して[OK]

✓お知らせ

• USBテザリングに必要なパソコンの動作環境は次のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。

- Windows XP (Service Pack 3以降)、Windows Vista、Windows 7

• Windows XPパソコンでUSBテザリングを行うには、パソコン側に専用ドライバをインストールする必要があります。専用ドライバのダウンロードについては、次のサイトをご覧ください。

<http://www.fmworld.net/product/phone/usb/>

❖ Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を8台まで同時接続できます。
- テザリングは、2.4GHzのみに対応しています。

■ Wi-Fiテザリングの設定

Wi-FiテザリングをONにして、接続の設定を行います。

- お買い上げ時の状態では、セキュリティには [WPA/WPA2 PSK] が、[パスワード] にはランダムな値が設定されています。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

1 ホーム画面で≡→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリング]

3 注意事項の詳細を確認して[OK]

4 [ネットワークSSID]→ネットワークSSIDを入力

- お買い上げ時には、「F-02E_AP」が設定されています。
- 登録済みの設定を変更する場合は、[Wi-Fiアクセスポイントを設定] を選択すると設定画面が表示されます。

5 [セキュリティ]→セキュリティを選択

- セキュリティは、[Open] [WEP64] [WEP128] [WPA PSK TKIP] [WPA PSK AES] [WPA2 PSK AES] [WPA/WPA2 PSK] が設定可能です。

6 [パスワード]→パスワードを入力→[保存]

◆ Wi-Fi対応機器の簡単登録

AOSS™またはWPSに対応したWi-Fi対応機器を登録します。

- ・あらかじめWi-FiテザリングをONにしてください。

1 ホーム画面で [] → [本体設定] → 無線とネットワークの[その他...] → [テザリング] → [Wi-Fi簡単登録]

2 登録方式を選択

AOSS™方式：[AOSS方式] → Wi-Fi対応機器側で AOSS™ボタンを押す

WPS方式：[WPS方式] → [プッシュボタン方式] / [PIN入力方式] → 各種操作 → 登録画面で [OK]

- ・プッシュボタン方式の場合は、Wi-Fi対応機器側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、Wi-Fi対応機器に表示されたPINコードを入力後、[OK] をタップします。

✓お知らせ

- ・AOSS™登録機器数が最大件数の24件を超えると、古い登録データの削除確認画面が表示されます。新たな機器でAOSS™接続を利用する場合は [はい] をタップしてください。
- ・AOSS™設定を解除するには、[Wi-Fiアクセスポイントを設定] 画面で [AOSS解除] をタップします。
- ・Wi-Fi対応機器によっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。
- ・AOSS™方式は2.4GHzのみに対応しています。

◆ パケット接続の停止

アプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならないかぎり、接続されたままになります。必要に応じて、パケット通信の有効／無効を切り替えてください。

1 ホーム画面で [] → [本体設定] → 無線とネットワークの[その他...] → [モバイルネットワーク]

2 [データ通信を有効にする]のチェックを外す

音・バイブ

◆ マナーモード

マナーモードを設定／解除します。

- ・マナーモードの種類は変更できます。→P93

1 ホーム画面で [] → [本体設定] → [音・バイブ] → [マナーモード]

2 [マナーモードを有効]にチェック

- ・マナーモードが起動すると、ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはマナーモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P45

✓お知らせ

- マナーモード中でも、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は鳴ります。

❖マナーモードの種類を変更

1 ホーム画面で  → [本体設定] → [音・バイブ] → [マナーモード] → [マナーモード選択]

2 項目を選択

通常マナー：本端末のスピーカーから音を鳴らしません。

サイレントマナー：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもオフになります。

アラームONマナー：アラームの音量とバイブレーションがアラームの設定に従う以外は、通常のマナーモードと同じです。

オリジナルマナー：音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定できます。

- オリジナルマナーを選択した場合、オリジナルマナーの設定に対応する音量を調節すると、オリジナルマナーの設定に反映されます。

❖オリジナルマナー

1 ホーム画面で  → [本体設定] → [音・バイブ] → [マナーモード] → [オリジナルマナー]

2 [音量]

3 [音声着信音量]／[メディア再生音量]／[アラーム音量]／[通知音量]

4 スライダーをスライドして音量を調節→ [OK] → 

5 [バイブレーション]

6 [音声着信]／[アラーム]／[通知]にチェック／チェックを外す

◆気配り着信

走行／歩行時や周囲の音に応じて、電話着信やメール受信時の着信音を自動調整するかを設定します。

1 ホーム画面で  → [本体設定] → [音・バイブ] → [気配り着信] → [周囲に合わせて自動調整]にチェック／チェックを外す

◆着信LED

お知らせLEDの色を設定します。

1 ホーム画面で  → [本体設定] → [音・バイブ] → [着信LED] → カラーを選択→ [OK]

◆はっきりタッチ

タップが認識されていることを振動でお知らせするかどうかを設定します。

1 ホーム画面で [] → [本体設定] → [音・バイブ] → [はっきりタッチ] にチェック／チェックを外す

- [はっきりタッチ] の振動の強さは、ホーム画面で [] → [本体設定] → [音・バイブ] → [振動の強さ] で設定できます。[強い] / [ふつう] を選択するとスクロールやタップしたときに設定した強さで振動し、[マイルド] を選択するとスクロールしたときは振動せず、タップしたときのみ設定した強さで振動します。
- 歩行中にはっきりタッチの振動を強くしたい場合は、ホーム画面で [] → [本体設定] → [音・バイブ] → [歩行中の強度アップ] にチェックを付けます。

◆音量

着信音／通知音、メディア再生音、アラームの音量を調節できます。

1 ホーム画面で [] → [本体設定] → [音・バイブ] → [音量]

2 スライダーをスライドして音量を調節 → [OK]

◆着信音／通知音／操作音／バイブレーションの設定

1 ホーム画面で [] → [本体設定] → [音・バイブ]

2 各項目を設定

マイク入力：ステレオイヤホン接続時の音声入力先を設定します。マイクなしのステレオイヤホンを接続時は「**端末のマイク**」を選択してください。

着信音：電話着信音を設定します。

着信時のバイブレーション：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかどうかを設定します。

通知音：通知音を設定します。

ダイヤルパッドのタッチ操作音：ダイヤルパッドのタッチ操作音のオン／オフを切り替えます。

タッチ操作音：メニュー選択時の操作音のオン／オフを切り替えます。

画面ロックの音：画面ロック設定時および解除時の通知音のオン／オフを切り替えます。

充電通知バイブ：充電開始時および終了時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

ロック解除時バイブ：ロック画面の [] をタップして解除したときに、振動でお知らせするかどうかを設定します。

✓お知らせ

- 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

ディスプレイ

◆画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

- 1 ホーム画面で [] → [本体設定] → [ディスプレイ] → [画面の明るさ]
- 2 スライダーをスライドして明るさを調節 → [OK]

・周囲の状況に応じて明るさを自動調整する場合は、[明るさを自動調整] にチェックを付け、スライダーをスライドして明るさを調節します。

◆スリープ／持てる間ON

❖スリープ

画面の消灯時間を設定します。

- 1 ホーム画面で [] → [本体設定] → [ディスプレイ] → [スリープ／持てる間ON] → [スリープ] → 時間を選択

❖持てる間ON

本端末を手に持っている間は、画面が消灯しないようにするかを設定します。

- 1 ホーム画面で [] → [本体設定] → [ディスプレイ] → [スリープ／持てる間ON]
- 2 [持てる間ON]にチェック／チェックを外す
 - ・[水平時すぐにスリープ] にチェックを付けると、本端末が水平なときは、[スリープ] で設定した時間に関わらず約5秒後に画面が消灯します。

◆フォトスクリーン

ロック画面の背景画像を設定します。

- 1 ホーム画面で [] → [本体設定] → [ディスプレイ] → [フォトスクリーン]
- 2 [画像設定] → 各項目を設定
 - ・[Flickr] / [Picasa] を選択した場合は、Flickr / Picasaからキーワードに一致する画像を自動取得して、スライドショー表示します。選択後は、[更新間隔] と [利用するネットワーク] を設定します。
 - ・[更新間隔] で [指定時刻] を選択した場合は、[更新時刻の指定] を選択して時刻を指定します。

✓お知らせ

- ・[更新時刻の指定] で設定した時間は、画像の自動取得を開始する時間です。取得した画像が表示される時間ではありません。

◆ ロック画面の表示

ロック画面を表示するかを設定します。

- 1 ホーム画面で → [本体設定] → [ディスプレイ] → [ロック画面の表示] にチェック／チェックを外す

◆ ロック画面の消灯時間

ロック画面の消灯時間を設定します。

- 1 ホーム画面で → [本体設定] → [ディスプレイ] → [ロック画面の消灯時間] → 時間を選択

✓お知らせ

- ・本設定より [スリープ] の設定時間が長い場合、充電中は [スリープ] で設定した消灯時間に従います。

◆ ナビゲーションバー

ナビゲーションバーの背景色を変更すると、, , のアイコンの色が変わります。

- 1 ホーム画面で → [本体設定] → [ディスプレイ] → [ナビゲーションバー] → 色を選択

◆ 電池アイコン

電池アイコンを変更します。

- 1 ホーム画面で → [本体設定] → [ディスプレイ] → [電池アイコン] → アイコンを選択

◆ 画面の自動回転

本端末の向きに合わせて画面を回転させるかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で → [本体設定] → [ディスプレイ]
- 2 [画面の自動回転] にチェック／チェックを外す

✓お知らせ

- ・カメラやビデオ録画など一部のアプリケーションは本設定に従いません。

◆ フォント

表示フォントの種類を変更します。

- 1 ホーム画面で → [本体設定] → [ディスプレイ] → [フォント] → フォントを選択 → [OK]

✓お知らせ

- ・画面によっては、電源を入れ直すとフォントの設定が反映されます。
- ・アプリケーションやWebサイトによっては、フォントの設定が反映されない場合やフォントが正しく表示されない場合があります。
- ・[オリジナル手書きフォント] の [個別文字編集] で作成した文字と自分の手書き文字を交換した場合、文字によっては文章の意味がわかりにくくなることがありますので注意ください。

◆ フォントサイズ

文字の大きさを変更します。

- 1 ホーム画面で≡→[本体設定]→[ディスプレイ]→[フォントサイズ]→サイズを選択

◆ プライバシービュー

周りの人から画面を見えにくくするかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で≡→[本体設定]→[ディスプレイ]→[プライバシービュー]にチェック／チェックを外す
 - ・プライバシービューの表示の濃さは、ホーム画面で≡→[本体設定]→[ディスプレイ]→[プライバシービューの濃さ]で設定できます。

◆ あわせるズーム

本端末の揺れを検知したときに、ブラウザ画面を自動で拡大するかを設定します。

- ・あわせるズームを利用するには、あらかじめ【ウォーキング/Exカウンタ利用設定】を設定する必要があります。→P113

- 1 ホーム画面で≡→[本体設定]→[ディスプレイ]→[あわせるズーム]→各項目を設定

◆ インテリカラー

周囲の光環境に合わせて画面の色味を自動で調整するかを設定します。

- 1 ホーム画面で≡→[本体設定]→[ディスプレイ]→[インテリカラー]にチェック／チェックを外す

◆ 戻ってシェイク

【画面の自動回転】によって回転した画面を、2回以上振ることで元に戻して固定することができます。

- 1 ホーム画面で≡→[本体設定]→[ディスプレイ]→[戻ってシェイク]→各項目を設定
 - ・【バイブ通知】にチェックを付けると、画面の向きが戻るときに振動でお知らせします。

✓お知らせ

- ・本機能を利用する場合は、画面の向きが変わってから1分以内で操作してください。
- ・本端末の振りかたの強さや速度、振る角度によっては、動作しない場合があります。

◆ 利き手

片手で操作するときに画面をタップする手を設定して、タップの精度を高くするかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で≡→[本体設定]→[ディスプレイ]→[利き手]→項目を選択

◆ うっかりタッチサポート

端末を手に持ったとき、画面の端に指が触れていてもタップ操作が行えるように設定します。

- 1 ホーム画面で [≡] → [本体設定] → [ディスプレイ] → [うっかりタッチサポート] → [OFF] / [ON]

マルチメディア

◆ 動画補正／静止画補正

動画（ワンセグやYouTubeなど）と、静止画（ギャラリー）の画質補正をするかを設定します。

- 1 ホーム画面で [≡] → [本体設定] → [マルチメディア]
- 2 [動画補正] / [静止画補正]にチェック / チェックを外す

✓お知らせ

- ・カメラで録画した動画や、ダウンロードなどでmicroSDカード内に保存した動画も、1080p以下のサイズであれば再生時に画質補正されます。

◆ Dolby Mobile設定

動画や音楽を再生するときにDolby Mobile機能を使用するかどうかを設定します。

- 1 ホーム画面で [≡] → [本体設定] → [マルチメディア] → [Dolby Mobile設定]
- 2 [動画ジャンル設定で使用] / [音楽ジャンル設定で使用]
- 3 [動画ジャンル設定] / [音楽ジャンル設定]でジャンルを選択

- ・設定すると、ステータスバーに  が表示されます。アイコンは設定するジャンルにより異なります。

✓お知らせ

- ・[エフェクト自動設定]は、お買い上げ時に [Play ミュージック] のみで動作します。
- ・Dolby Mobileを設定した場合は、イコライザなどの他の音響機能を使用しないことをおすすめします。

ストレージ

◆メモリ空き容量の確認

本端末、microSDカード、USB接続した大容量記憶装置(USBマスストレージ)の空き容量を確認します。

1 ホーム画面で≡→[本体設定]→[ストレージ]

- microSDカードは「空き容量」の他に、アプリケーションが含まれる場合は「アプリケーション」の容量が表示されます。

◆microSDカードのデータ消去（フォーマット）

操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で≡→[本体設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]

- SDカードのマウント解除についての注意が表示された場合は【OK】をタップします。

2 [SDカード内データを消去]→[SDカード内データを消去]

- セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。

3 [すべて消去]

電池

電池の使用状況を確認します。

1 ホーム画面で≡→[本体設定]→[電池]

- 右上の→[アプリ電池診断]タブをタップすると、画面消灯中にバックグラウンドで動作するなど、電力消費に影響があるアプリケーションが表示されます。

NX!エコ

電池残量や設定した時間帯に、画面の明るさや各種機能を調整して消費電力を抑えることができます。

◆エコモードの設定

エコモードを設定／解除します。

- エコモードが起動すると、ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはエコモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P45

1 ホーム画面で≡→[本体設定]→[NX!エコ]→各項目を設定

タイマーエコモード：設定した時間帯になると、エコモードが起動します。

電池残量エコモード：設定した電池残量より少ないと、エコモードが起動します。

今すぐエコモード：すぐにエコモードが起動します。

✓お知らせ

- ・エコモードは①今すぐエコモード、②電池残量エコモード、③タイマーエコモードの優先順位で動作します。
- ・[充電時はエコモードを解除する]にチェックを付けると、充電中はエコモードが解除されます。
- ・お買い上げ時は、電池をフル充電してから本機能をお使いください。充電が十分でない場合、「電池残量エコモード」が起動しないことがあります。
- ・右上の→[アプリ電池診断]タブをタップすると、画面消灯中にバックグラウンドで動作するなど、電力消費に影響があるアプリケーションが表示されます。

❖エコレベルの設定

- 1 ホーム画面で→[本体設定]→[NX!エコ]→各モード内の[設定]→[エコレベル]
- 2 レベルを選択→[決定]

・[確認]をタップすると各レベルの設定値を確認できます。オリジナルの設定値に変更することもできます。→P100

❖オリジナルエコレベルを設定

- 1 ホーム画面で→[本体設定]→[NX!エコ]→各モード内の[設定]→[エコレベル]
- 2 [オリジナルエコモード]→[編集]→各項目を設定→[完了]→[OK]

アプリケーション

◆本端末のアプリケーションに許可されている動作の表示

- 1 ホーム画面で→[本体設定]→[アプリケーション]
 - 2 アプリケーションを選択
- ・すべての許可されている動作が表示されていない場合は、[すべて表示]をタップします。

◆アプリケーションのデータやキャッシュの消去

- 1 ホーム画面で→[本体設定]→[アプリケーション]
 - 2 アプリケーションを選択→[データを消去]／[キャッシュを消去]
- ・[データを消去]の場合は[OK]をタップします。